

2012年度（13年3月期） 決算概要

2013年4月26日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

目 次

I. 2012年度 決算概要

II. 2013年度 業績予想

- 2012年度 決算概要（補足）
- 2013年度 業績予想（補足）
- 参考資料（業績データ）

※ 2012年7月6日発表の「セグメントの変更のお知らせ」にてお知らせしたとおり、第1四半期連結会計期間から、セグメントを変更しています。また、前年同期の数値についても新たなセグメントに組み替えて表示しています。



I . 2012年度 決算概要

2012年度 概況サマリー

売上高

前年同期比 +1.1%
期初計画比 △784億円

● 計画比は未達も前年度比で増収

（事業の非連結化の影響を除くと約3%の増収）

- ITソリューション、キャリアネットワーク、社会インフラが牽引
 - － パーソナルソリューションは減収

営業利益

前年同期比 +409億円
期初計画比 +146億円

● 前年度比で増益、期初計画を達成

- ITソリューション、キャリアネットワーク、社会インフラが大幅増益
 - － パーソナルソリューションは減益
- 400億円の構造改革効果を実現

当期純損益

前年同期比 +1,407億円
期初計画比 +104億円

● 営業利益が改善し黒字に転換、復配を実現

- 持分法投資損益の改善
（前年度に繰延税金資産の取り崩し）

2012年度 概況サマリー

(単位:億円)

	第4四半期 <1～3月>			通期			1/31 予想比
	11年度 実績	12年度 実績	前年 同期比	11年度 実績	12年度 実績	前年度比	
売 上 高	9,246	9,018	△ 2.5%	30,368	30,716	1.1%	△ 784
営 業 利 益 対売上高比率 (%)	752 8.1%	428 4.8%	△ 323	737 2.4%	1,146 3.7%	409	146
経 常 利 益 対売上高比率 (%)	640 6.9%	403 4.5%	△ 238	421 1.4%	920 3.0%	500	220
当 期 純 損 益 対売上高比率 (%)	△ 127 -	190 2.1%	317	△ 1,103 -	304 1.0%	1,407	104
フリーキャッシュフロー	988	1,347	359	342	420	79	420

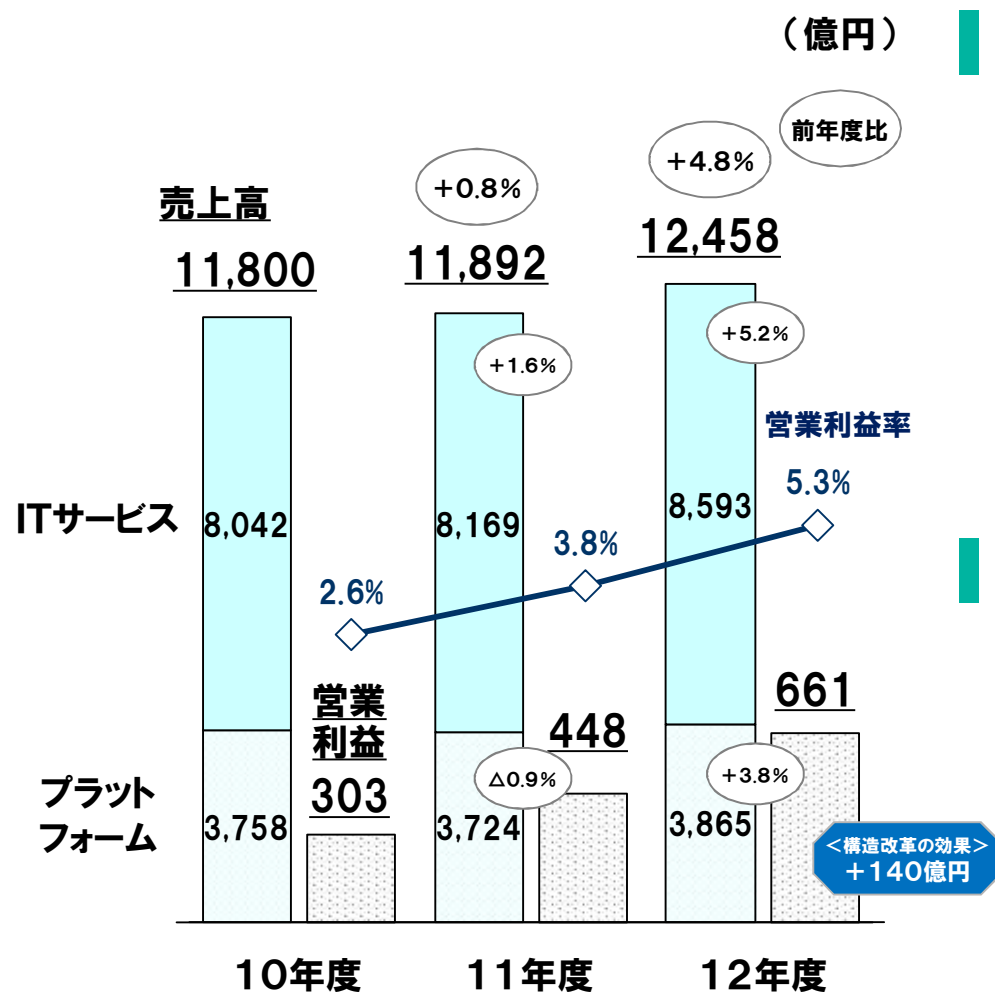
参考：第4四半期の売上平均為替レート(実績) 1ドル=88.71円、1ユーロ=117.61円
(12年度の為替レート前提 1ドル=75円、1ユーロ=100円)

12年度年間の売上平均為替レート(実績) 1ドル=82.08円、1ユーロ=105.98円
(11年度の売上平均為替レート(実績) 1ドル=79.03円、1ユーロ=109.43円)

セグメント別 実績サマリー

(単位:億円)

			第4四半期 <1~3月>			通期			1/31 予想比
			11年度 実績	12年度 実績	前年 同期比	11年度 実績	12年度 実績	前年度比	
合 計	ITソリューション	売上高 営業利益 営業利益率(%)	3,963 476 12.0%	3,866 359 9.3%	△ 2.4% △ 117	11,892 448 3.8%	12,458 661 5.3%	4.8% 213	△ 92 △ 59
	キャリアネットワーク	売上高 営業利益 営業利益率(%)	1,776 271 15.3%	1,830 196 10.7%	3.1% △ 75	6,027 506 8.4%	6,477 631 9.7%	7.5% 125	△ 473 101
	社会インフラ	売上高 営業利益 営業利益率(%)	1,201 87 7.3%	1,467 137 9.4%	22.1% 50	3,304 162 4.9%	3,723 278 7.5%	12.7% 116	△ 27 88
	パーソナル ソリューション	売上高 営業損益 営業利益率(%)	1,647 6 0.3%	1,371 △ 101 -	△ 16.8% △ 106	6,610 10 0.2%	5,891 △ 37 -	△ 10.9% △ 47	△ 209 △ 137
	そ の 他	売上高 営業利益 営業利益率(%)	660 58 8.7%	484 49 10.1%	△ 26.6% △ 9	2,535 111 4.4%	2,166 223 10.3%	△ 14.5% 112	16 63
	消去・配賦不能	営業損益	△ 146	△ 213	△ 67	△ 500	△ 610	△ 110	90
合 計		売上高 営業利益 営業利益率(%)	9,246 752 8.1%	9,018 428 4.8%	△ 2.5% △ 323	30,368 737 2.4%	30,716 1,146 3.7%	1.1% 409	△ 784 146



売上高 12,458億円 (+4.8%)

△ ITサービス

製造業、流通・サービス業、通信事業者
向けなどで増収
豪州CSG社ITサービス事業の連結化

△ プラットフォーム

大型案件により増収

営業利益 661億円 (+213億円)

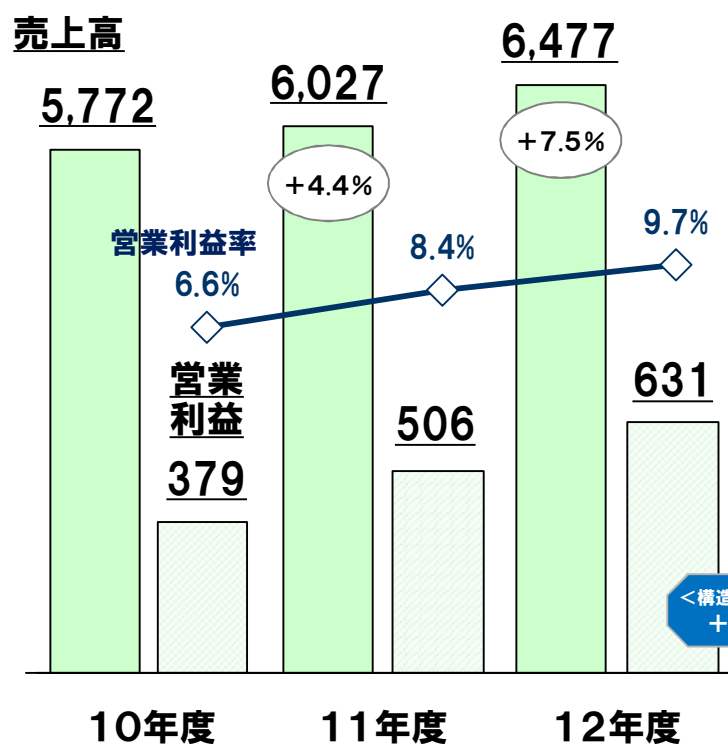
△ 売上増や構造改革効果により増益



※ カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比

(億円)

前年度比



売上高 6,477億円 (+7.5%)

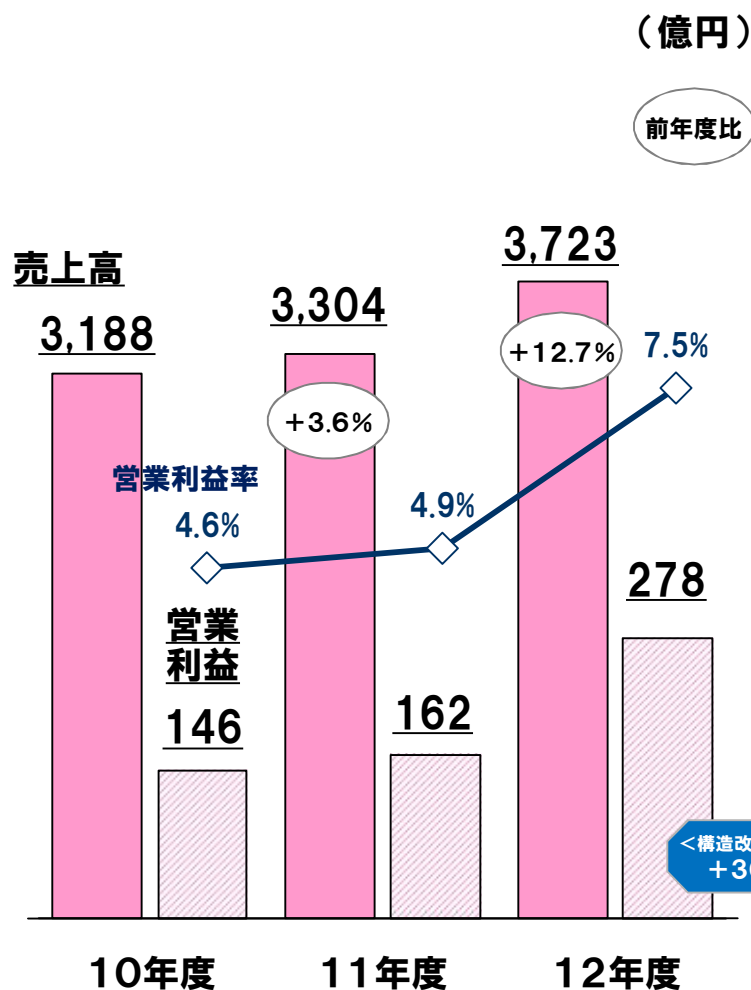
- △ 国内事業が堅調な需要を背景に増収
- △ 海外はサービス&マネジメントおよび海洋システムの伸長に伴い増収

営業利益 631億円 (+125億円)

- △ 売上増および原価低減に加えて、知財関連の一過性の利益計上もあり増益



※ カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比



売上高 3,723億円 (+12.7%)

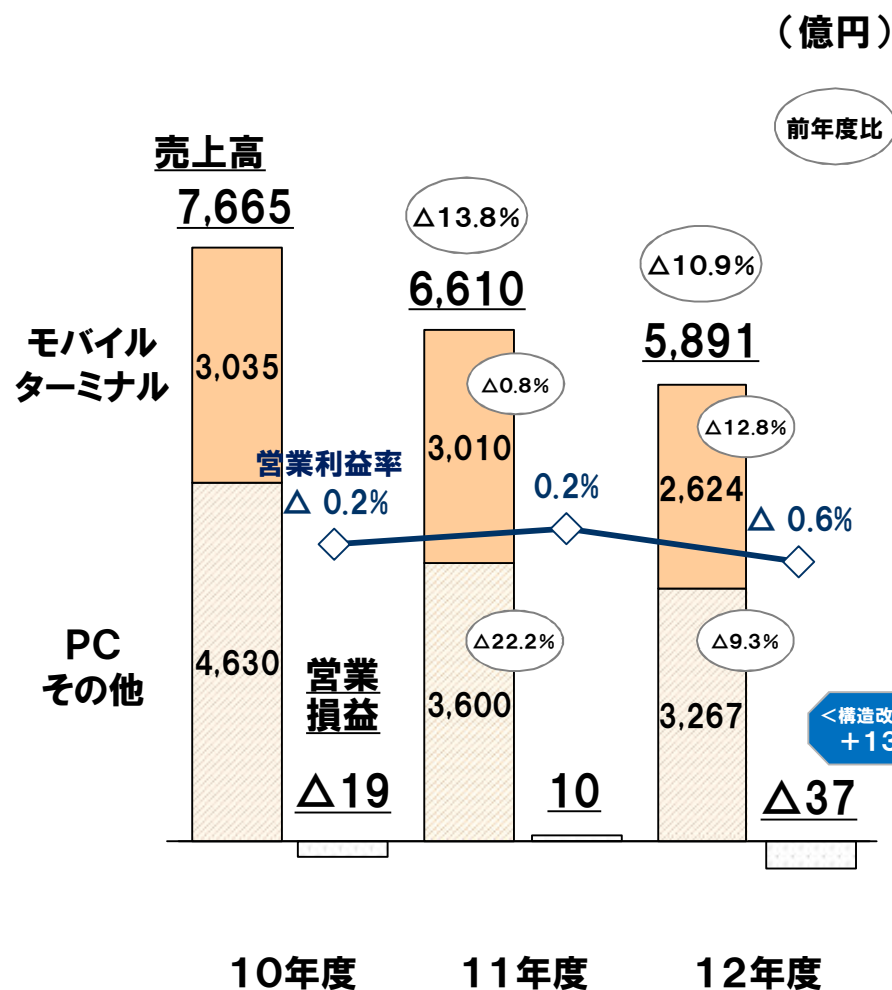
△ 社会システム分野における消防・防災や航空宇宙・防衛システム分野の増加により増収

営業利益 278億円 (+116億円)

△ 売上増、原価低減や構造改革効果により増益



※ カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比



売上高 5,891億円 (△10.9%)

▽ モバイルターミナル

NECモバイリングの携帯販売事業が好調も、携帯電話の出荷台数の大幅減により減収

▽ PCその他

個人向けPCの非連結化などに伴い減収

営業損益 △37億円 (△47億円)

▽ 携帯電話事業を中心とした構造改革を実施したものの、モバイルターミナルの売上減により減益

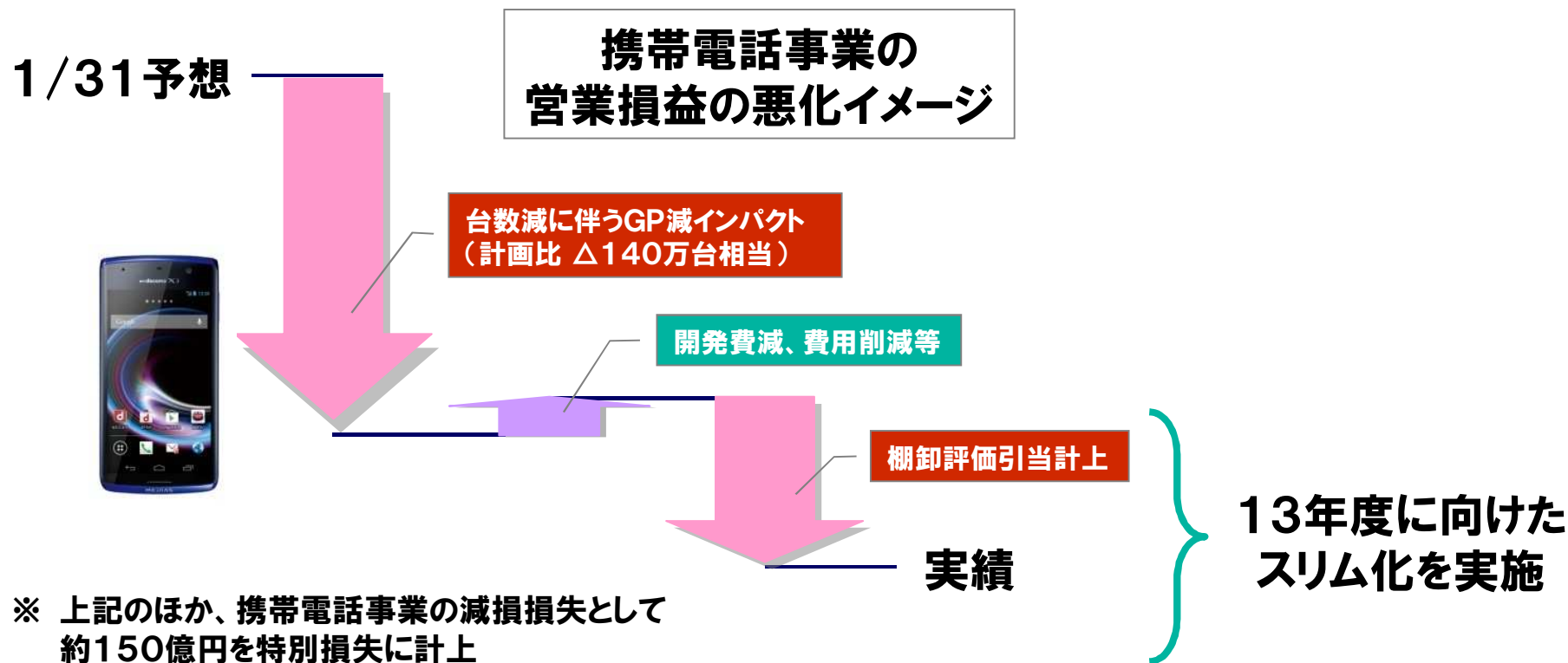


※ カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比

携帯電話事業の状況

■ パーソナルソリューションの営業利益が予想比で137億円の悪化
(1/31予想：100億円 ⇒ 実績：△37億円)

- 携帯電話事業の4Q営業損益が出荷台数計画の未達などで大幅悪化
(年間出荷台数計画：430万台 ⇒ 実績：290万台)



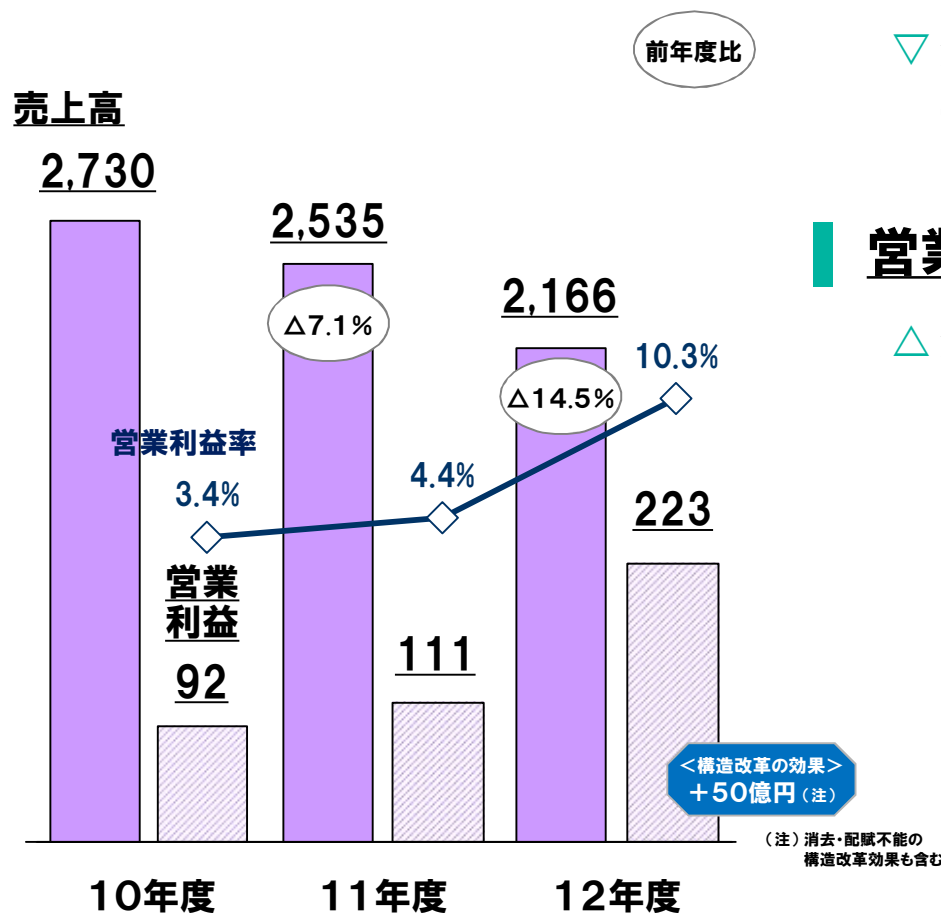
(億円)

売上高 2,166億円 (△14.5%)

▽ 液晶事業の非連結化、電子部品事業、エネルギー事業の減少などにより減収

営業利益 223億円 (+112億円)

△ 液晶関連特許の売却、構造改革効果などにより増益



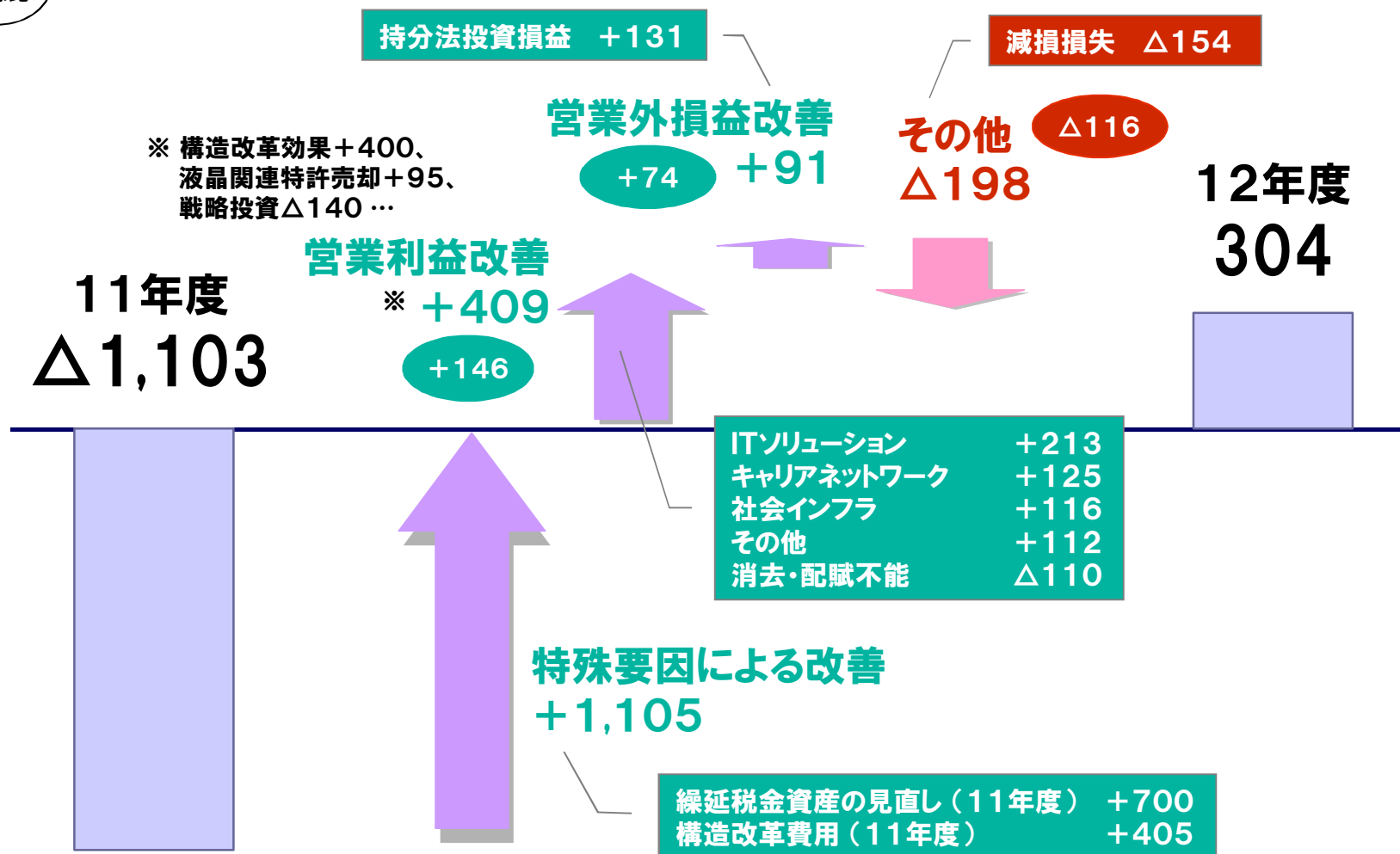
※ カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比

当期純損益増減（前年度比）

12実績

（億円）

1/31
予想比





II. 2013年度 業績予想

2013年度 経営方針

市場環境の見通し

- 国内経済は景況感の回復を背景に緩やかながら堅調な推移を見込む
(欧州経済の停滞に伴う外需の伸び悩みなどに不透明感あり)
- 国内IT投資は回復基調
 - キャリア設備投資は減少が見込まれるもTOMS、SDNの市場が拡大
 - 社会インフラでは政権交代に伴う経済財政政策が進展
 - スマートエネルギーなどのプロジェクトの活発な動き

事業遂行方針

- 社会ソリューション事業への注力／グローバルで戦える成長基盤の確立
(パブリック、エンタープライズ、テレコムキャリア、スマートエネルギー)
- 戦略投資の継続、不採算案件の縮小、CCC圧縮活動の加速…

“CS NO.1” “Global First” “One NEC”

※ TOMS : Telecom Operations Management Systems, SDN : Software-Defined Networking, CCC : Cash Conversion Cycle

業績予想サマリー

営業利益1,000億円の確実な達成を目指す

(売上高は事業の非連結化の影響を除くと約2%の増収)

(単位:億円)

	通期		
	12年度 実績	13年度 予想	前年度比
売上高	30,716	30,000	△ 2.3%
営業利益	1,146	1,000	△ 146
対売上高比率(%)	3.7%	3.3%	
経常利益	920	700	△ 220
対売上高比率(%)	3.0%	2.3%	
当期純利益	304	200	△ 104
対売上高比率(%)	1.0%	0.7%	

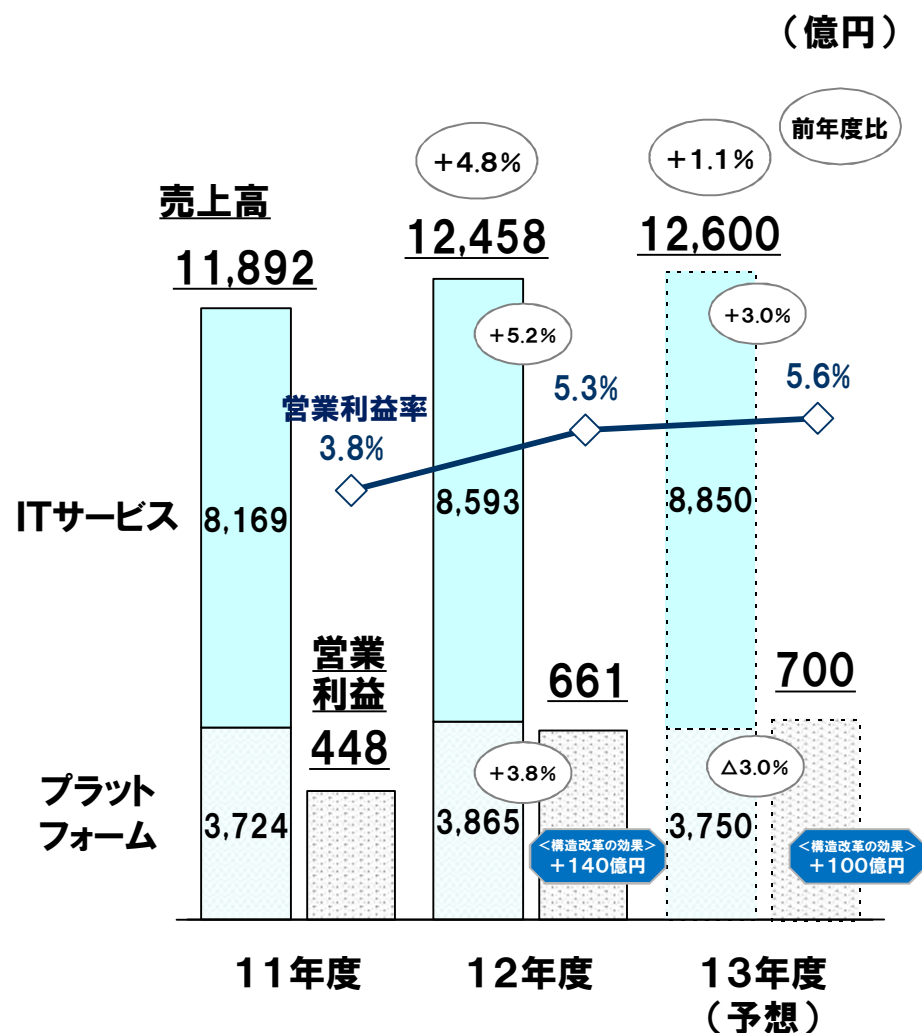
1株当たり 当期純利益(円)	11.71	7.70	△ 4.01
-------------------	-------	------	--------

参考：13年度の為替レート前提 1ドル=90円、1ユーロ=115円

(単位:億円)

<セグメント別>			通期		
			12年度 実績	13年度 予想	前年度比
ITソリューション	売上高	12,458	12,600	1.1%	
	営業利益	661	700	39	
	営業利益率(%)	5.3%	5.6%		
	売上高	6,477	6,500	0.4%	
	営業利益	631	550	△ 81	
	営業利益率(%)	9.7%	8.5%		
キャリアネットワーク	売上高	3,723	4,200	12.8%	
	営業利益	278	270	△ 8	
	営業利益率(%)	7.5%	6.4%		
社会インフラ	売上高	5,891	4,850	△ 17.7%	
	営業損益	△ 37	△ 100	△ 63	
	営業利益率(%)	-	-		
パーソナル ソリューション	売上高	2,166	1,850	△ 14.6%	
	営業利益	223	100	△ 123	
	営業利益率(%)	10.3%	5.4%		
その他	営業損益	△ 610	△ 520	90	
	売上高	30,716	30,000	△ 2.3%	
	営業利益	1,146	1,000	△ 146	
消去・配賦不能	営業利益率(%)	3.7%	3.3%		
	合計				

※ 予想値は、2013年4月26日現在



売上高 12,600億円 (+1.1%)

△ ITサービス
回復基調にあるIT投資環境を受けて
着実な増収を目指す

▽ プラットフォーム
大型案件の減少により減収を見込む

営業利益 700億円 (+39億円)

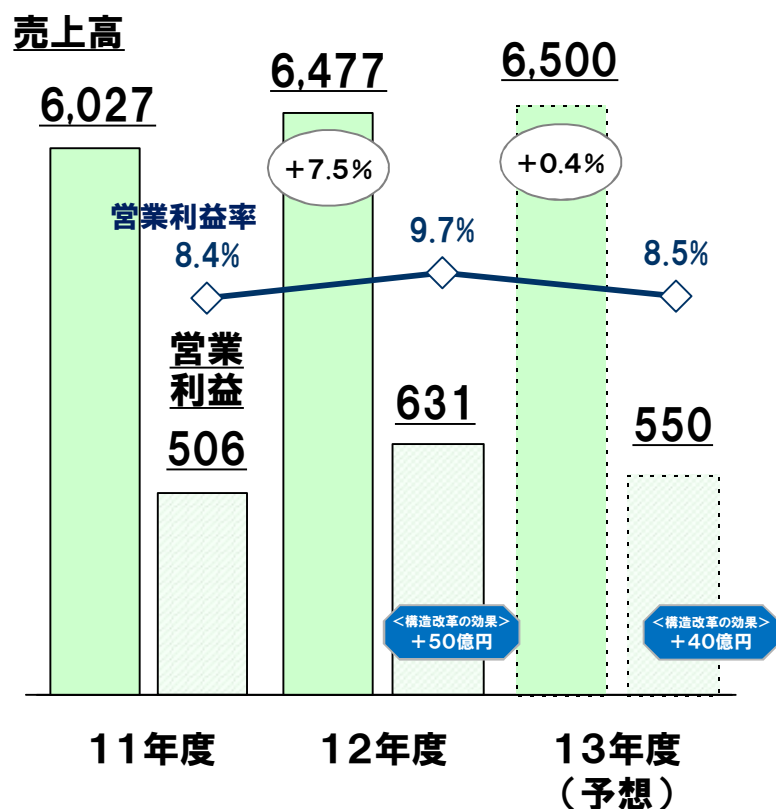
△ 売上増に加え、継続的な原価低減による
収益力強化で増益を見込む



※ 予想値は、2013年4月26日現在、カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比

(億円)

前年度比



売上高 6,500億円 (+0.4%)

▽ 国内事業は堅調な需要があった前年からは減少を見込む

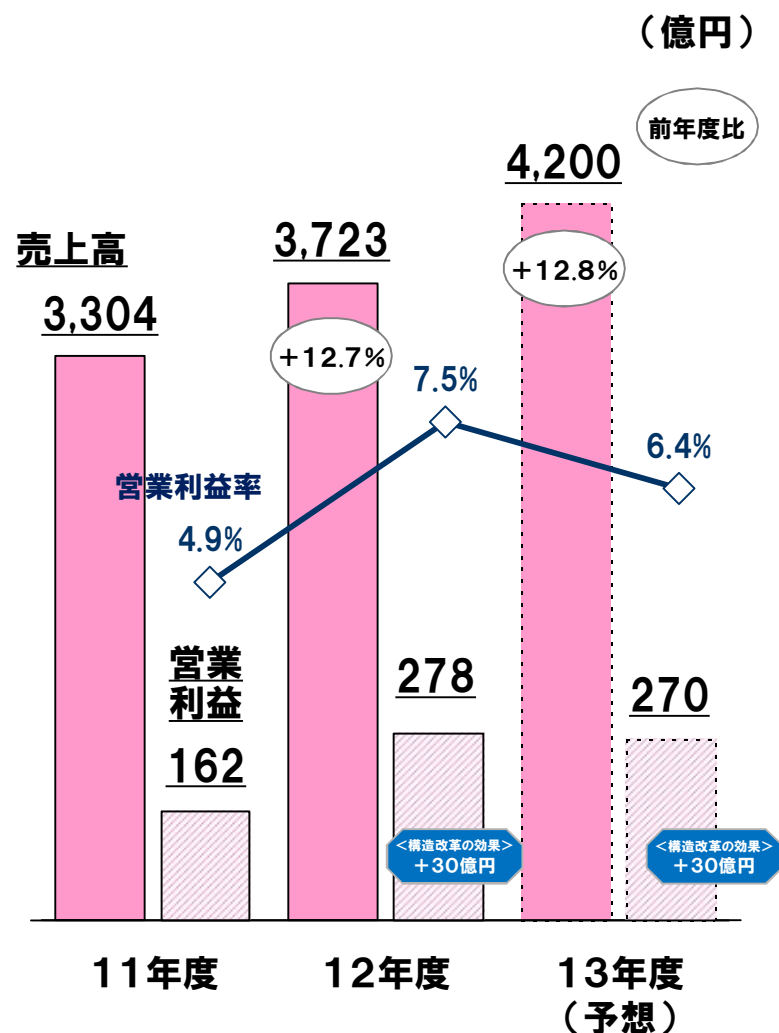
△ 海外事業はサービス&マネジメントとモバイルバックホールの拡大により増収

営業利益 550億円 (△81億円)

▽ SDN等への投資加速とともに、前年に知財関連の一過性の利益計上があった影響により減益



※ 予想値は、2013年4月26日現在、カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比



売上高 4,200億円 (+12.8%)

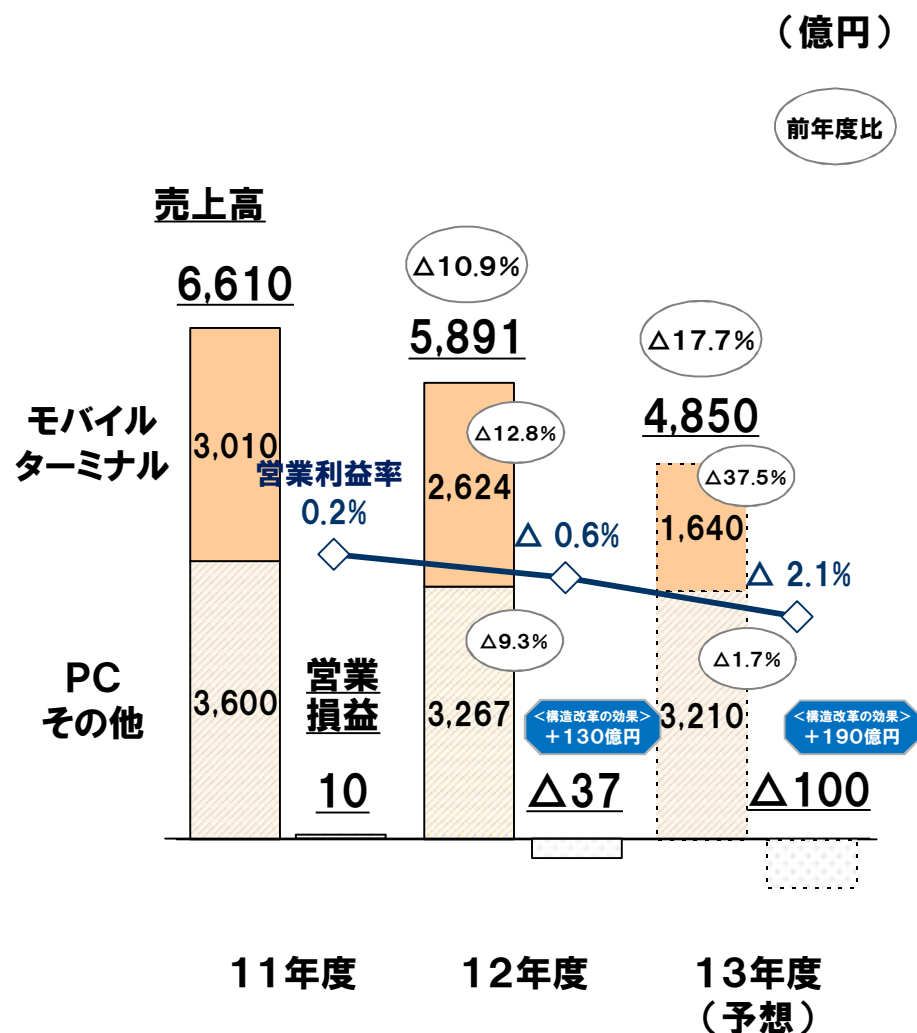
△ 航空宇宙・防衛システム分野の大型案件による好調に加え、社会システム分野が消防・防災を中心に増加し増収

営業利益 270億円 (△8億円)

▽ 売上増はあるものの、先行投資増などにより、ほぼ前年並みを見込む



※ 予想値は、2013年4月26日現在、カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比



売上高 4,850億円 (△17.7%)

- ▽ モバイルターミナル
携帯電話端末の売上は前年並みも
NECモバイルリングの非連結化により減収
- ▽ PCその他
ビジネスPCの減少などにより若干の
減収を見込む

営業損益 △100億円 (△63億円)

- ▽ 携帯電話事業の赤字幅縮小による改善
を見込むものの、NECモバイルリングの
非連結化に伴い減益



※ 予想値は、2013年4月26日現在、カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比

(億円)

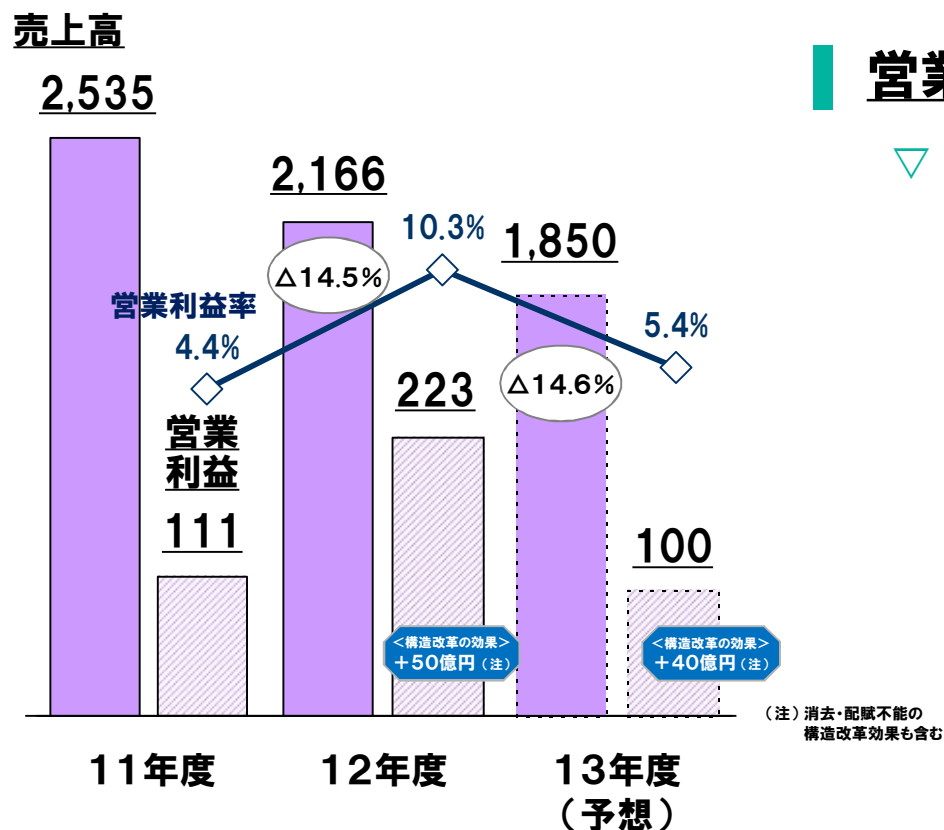
売上高 1,850億円 (△14.6%)

▽ 電子部品事業の非連結化により減少

前年度比

営業利益 100億円 (△123億円)

▽ 前年に液晶関連特許の売却があった影響などにより減益

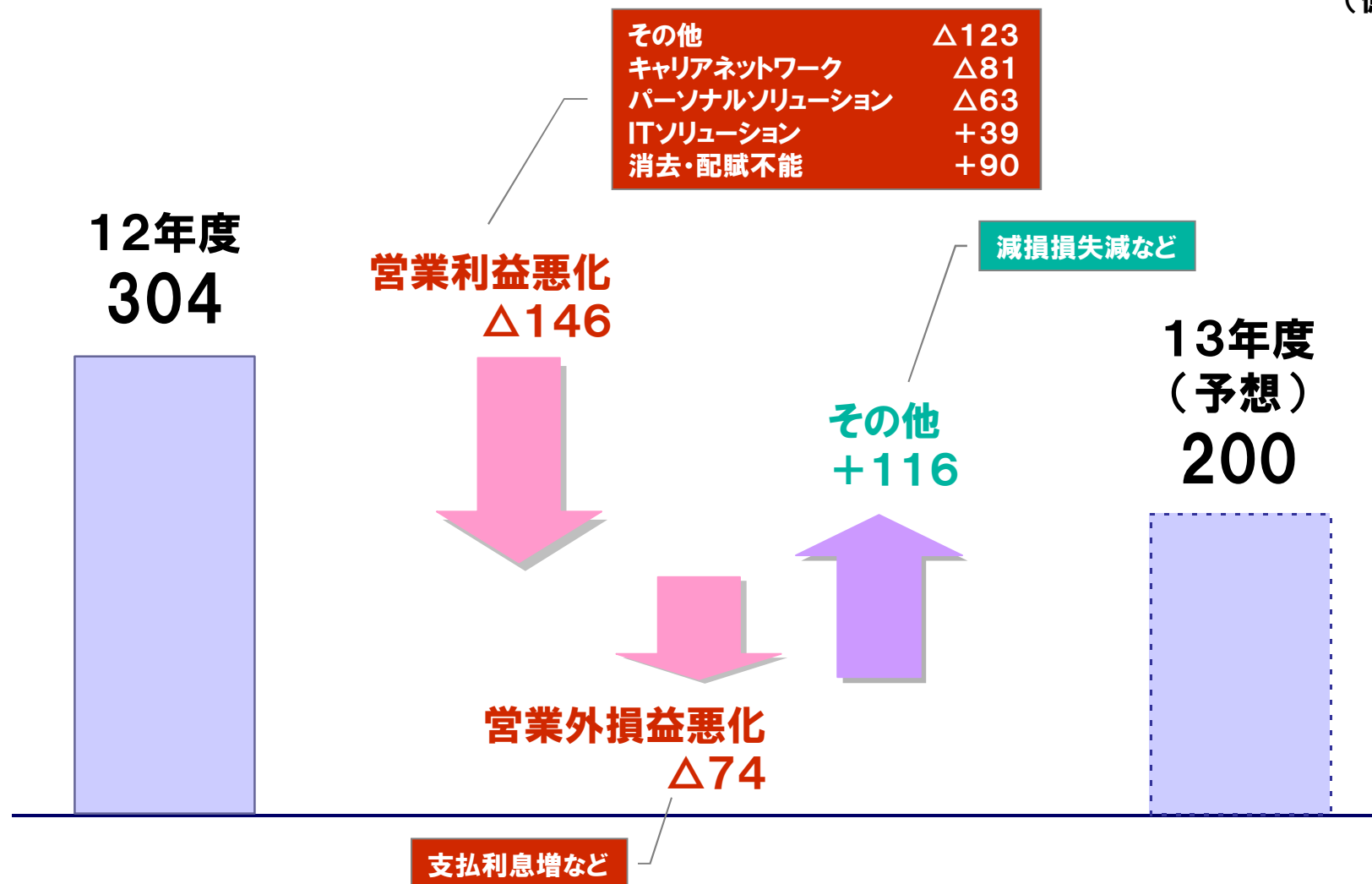


※ 予想値は、2013年4月26日現在、カッコ内の%は前年度比、構造改革の効果は11年度比

当期純利益増減（前年度比）

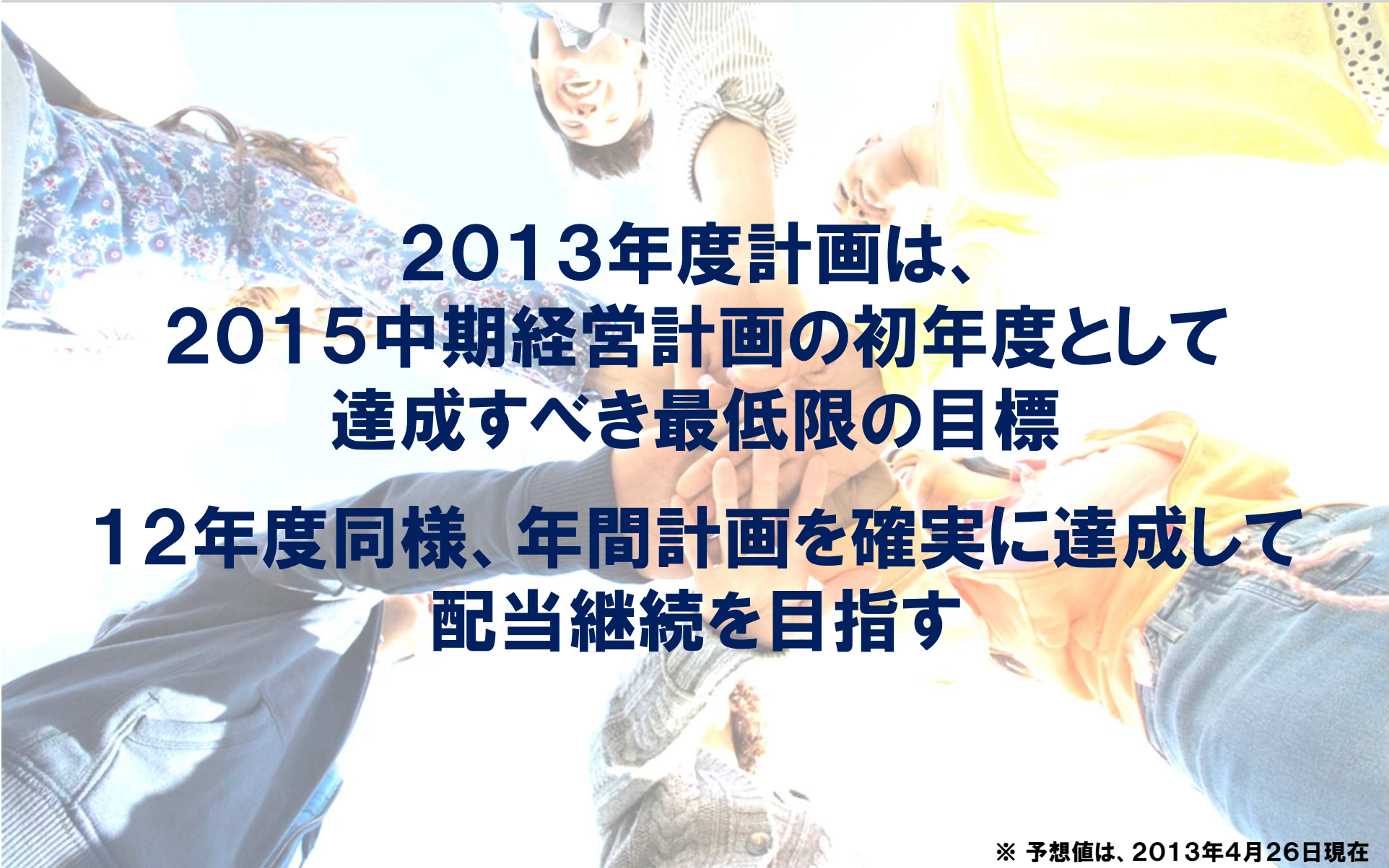
13予想

（億円）



※ 予想値は、2013年4月26日現在

まとめ



**2013年度計画は、
2015中期経営計画の初年度として
達成すべき最低限の目標**

**12年度同様、年間計画を確実に達成して
配当継続を目指す**

※ 予想値は、2013年4月26日現在

Empowered by Innovation

NEC



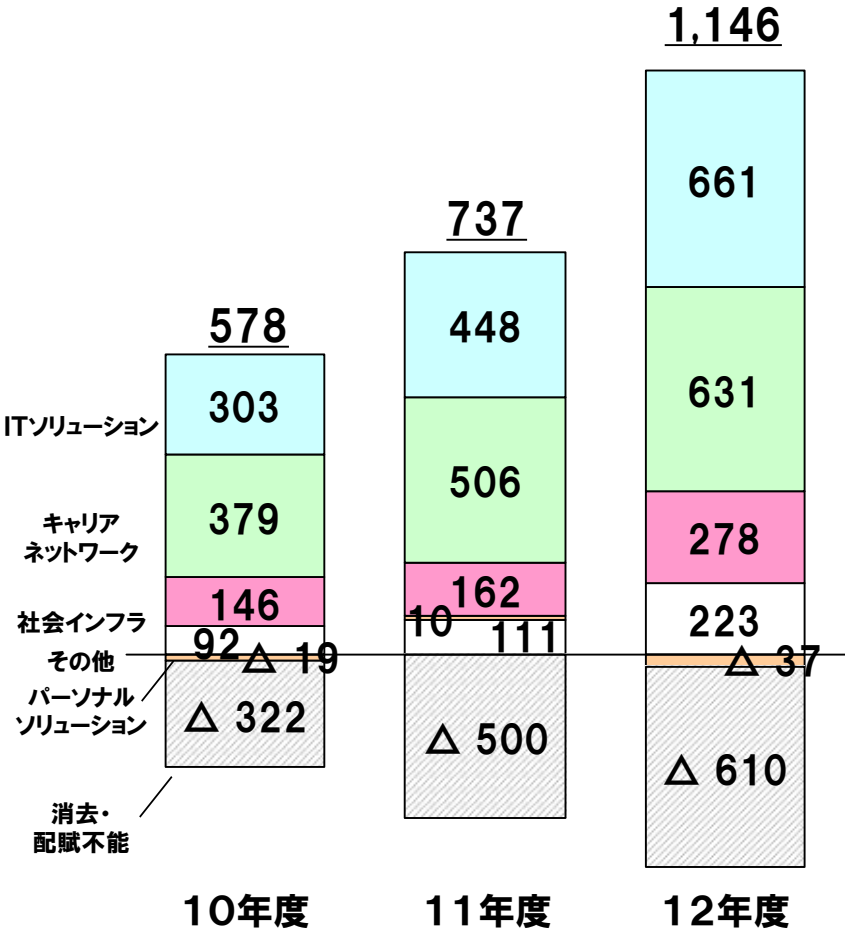
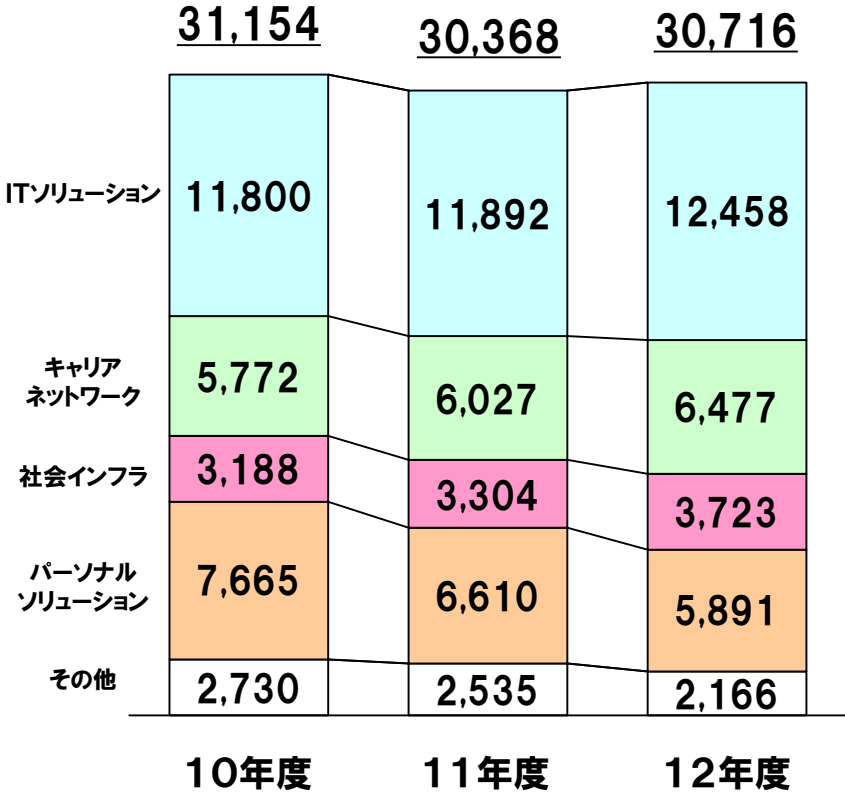
2012年度 決算概要（補足）

セグメント別 実績

(億円)

売上高

営業損益

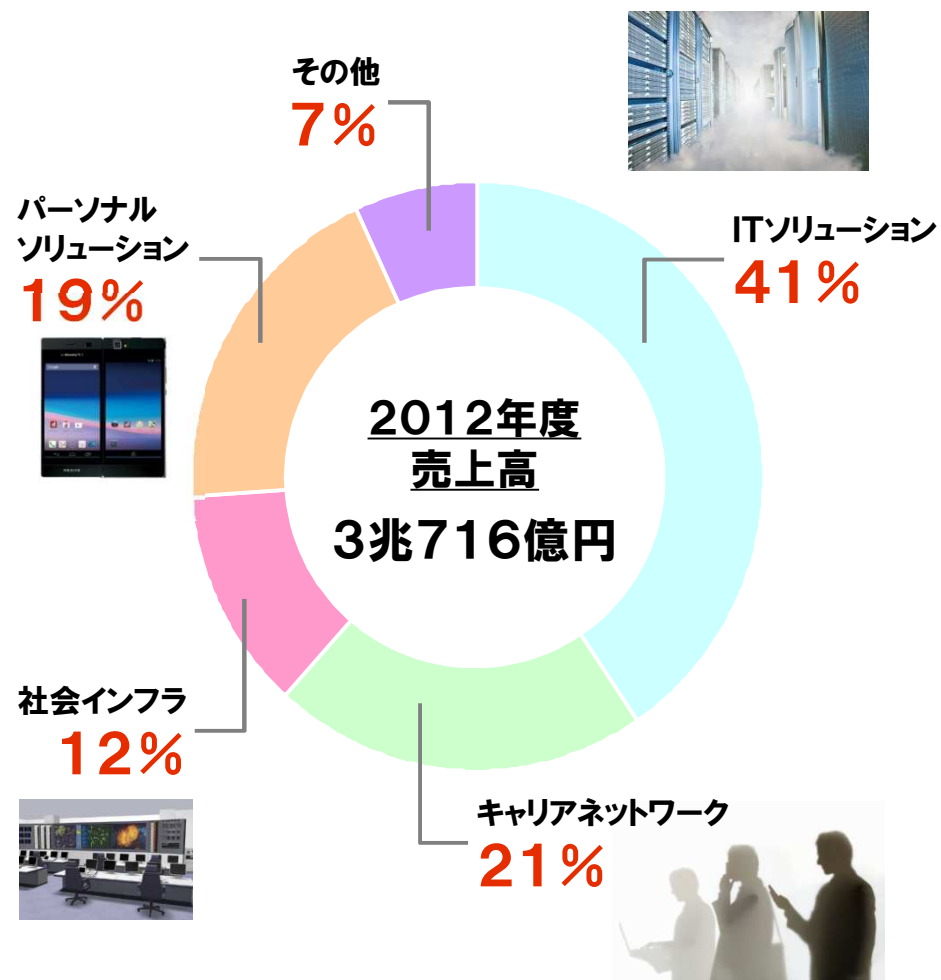


セグメント別 実績サマリー

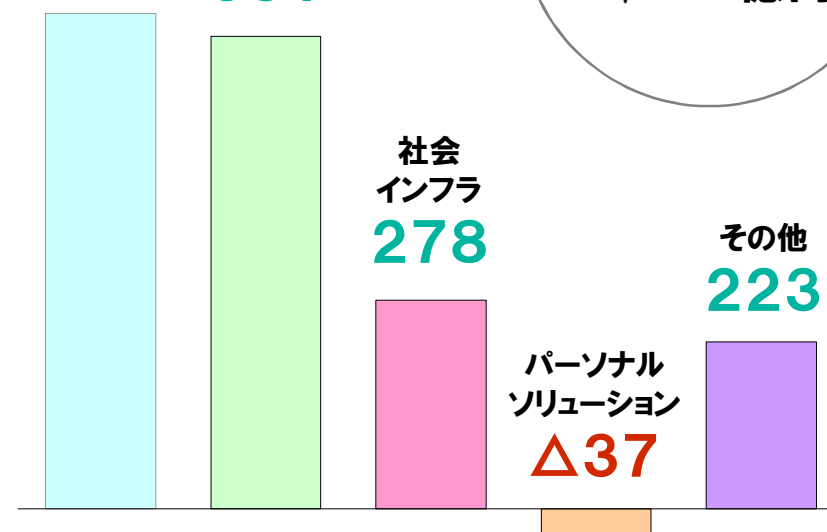
売上高

営業損益

(億円)



ITソリューション 661
キャリアネットワーク 631



売上高増減（前年度比）

12実績

1/31
予想比

消防・防災、航空宇宙・
防衛システム分野の増加

△27

社会インフラ
+419 (+12.7%)

△209

携帯電話の出荷台数減少
個人向けPCの非連結化

パーソナルソリューション
△719 (△10.9%)

（億円）

国内事業は堅調な需要を背景に増加
海外事業はサービス&マネジメントや
海洋システムが増加

△473

キャリアネットワーク
+450 (+7.5%)

液晶事業の非連結化、
電子部品事業の減少

その他
△369

+16

12年度
30,716

11年度
30,368

△92

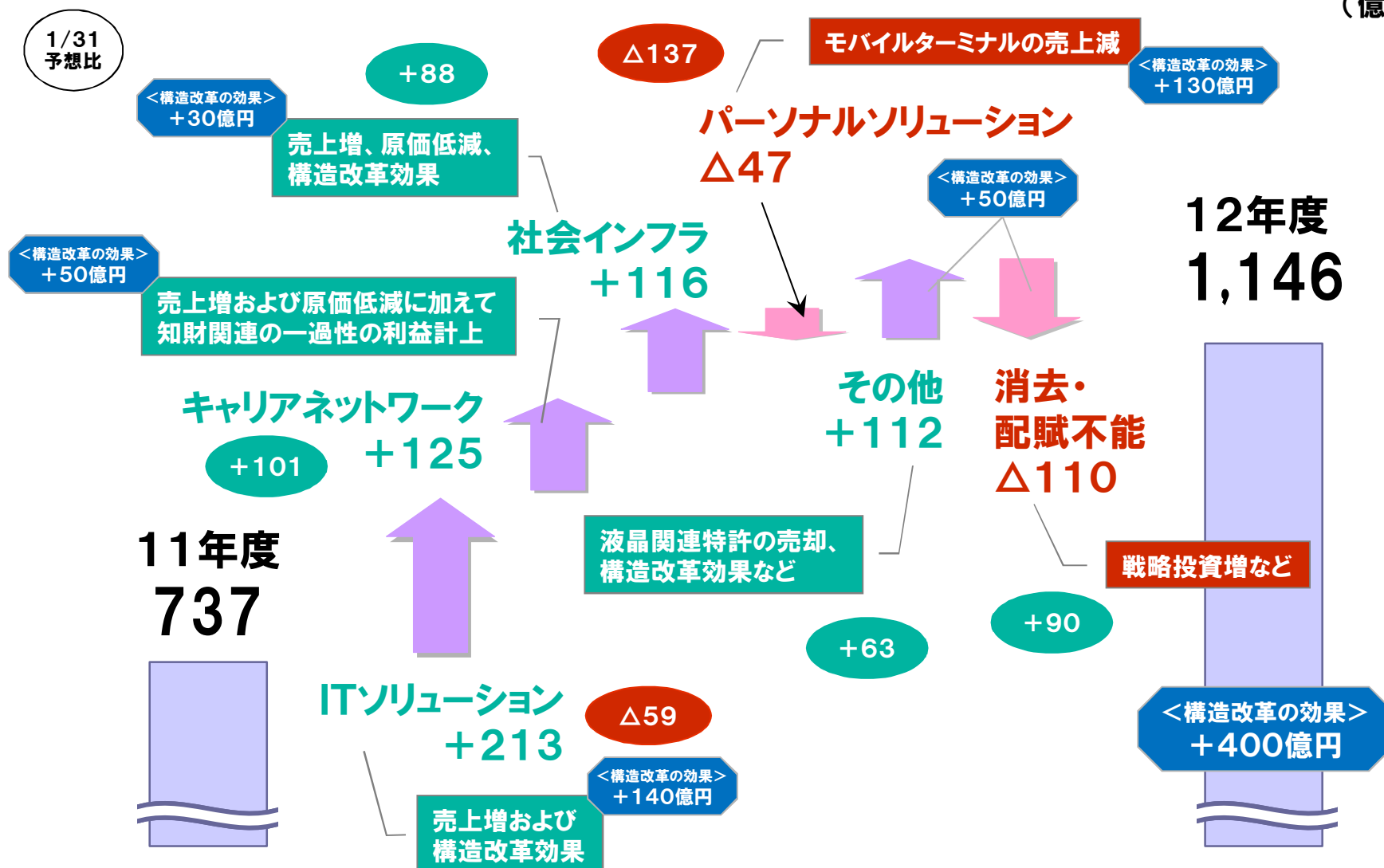
ITソリューション
+566 (+4.8%)

ITサービス、プラットフォームとも増収

営業損益増減（前年度比）

12実績

（億円）



構造改革の進捗

12年度実績：当初計画の400億円を達成

費用別	12年度 効果額実績 (うち1～3月)	13年度 効果額 (計画)	セグメント別	12年度 効果額実績 (うち1～3月)	13年度 効果額 (計画)
事業構造改革	200億円 (90億円)	340億円	IT ソリューション	140億円 (40億円)	100億円
グループスタッフ 効率化			キャリア ネットワーク	50億円 (20億円)	40億円
外部リソース削減	40億円 (20億円)	60億円	社会 インフラ	30億円 (10億円)	30億円
緊急人事施策	160億円 (30億円)	0億円	パーソナル ソリューション	130億円 (50億円)	190億円
合 計	400億円 (140億円)	400億円	その他／ 消去・配賦不能	50億円 (20億円)	40億円
			合 計	400億円 (140億円)	400億円

※ 予想値は、2013年4月26日現在、構造改革効果は11年度比

海外売上高

12実績

(単位:億円)

			第4四半期 <1~3月>			通期			主な国または地域
			11年度 実績	12年度 実績	前年 同期比	11年度 実績	12年度 実績	前年 同期比	
アジア	売上高		402	461	14.5%	1,530	1,623	6.1%	中国、台湾、インド、 シンガポール、インドネシア
	連結売上高比率(%)		4.4%	5.1%		5.0%	5.3%		
欧州	売上高		218	220	0.6%	1,044	842	△ 19.4%	イギリス、フランス、オランダ、 ドイツ、イタリア、スペイン
	連結売上高比率(%)		2.4%	2.4%		3.4%	2.7%		
その他	売上高		566	604	6.6%	2,241	2,366	5.6%	アメリカ
	連結売上高比率(%)		6.1%	6.7%		7.4%	7.7%		
合計	売上高		1,187	1,284	8.1%	4,815	4,831	0.3%	
	連結売上高比率(%)		12.8%	14.2%		15.9%	15.7%		

※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

財政状態に関する経営指標

(単位:億円)

	12/3末	13/3末	12/3末比
総 資 産	25,576	25,810	234
純 資 産	7,776	8,361	585
有利子負債残高	6,927	6,035	△ 893
自 己 資 本 自己資本比率(%)	6,570 25.7%	7,107 27.5%	537 1.8pt
D/Eレシオ(倍)	1.05	0.85	0.20pt
ネットD/Eレシオ(倍)	0.67	0.57	0.10pt
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	2,518	1,971	△ 547

《参考》貸借対照表の状況（13／3末）

総資産 2兆5,810億円（前年度末比 +234億円）

流動資産

1兆5,138億円

固定資産

1兆672億円

負債

1兆7,448億円

純資産

8,361億円

前年度末比

△6

△351

有利子負債の減少
前受金の増加

+240

事業買収など

+585

当期純利益の計上
為替換算調整勘定の増加

《参考》主要な新製品・新ソリューション

(発表日)

- 業種・業務向けに最適化した垂直統合型製品「NEC Solution Platforms (TM)」の発売～プラットフォーム構築期間を最大60%短縮、コストを最大40%削減～ (4/3)
- 「統合型電子マネーソリューション」をクラウドで提供～先行的に、海外の大手コンビニチェーンと複合映画館で採用～ (3/5)
- NTTドコモが開始する020 (オーツーオー) の実証実験「ショツぶらっと」向けに、クラウドサービスを提供 (2/20)
- 世界最小・最軽量のiPASOLINK向け屋外無線装置を発売 (2/15)
- 台湾最大の飲食店ロコミサイト運営会社と戦略提携～消費者と店舗をつなぐ020型サービス事業を台湾で展開～ (1/24)
- 府中事業場に人工衛星組み立て工場を建設～既存工場を含めて最大8機の人工衛星組み立てが可能～ (1/7)
- OpenFlowに対応した「UNIVERGE PFシリーズ」のコントローラ機能を強化、スイッチの新製品を発売 (12/12)
- 新世界I&C、NICEと顧客情報分析クラウドサービスを韓国で提供開始～NECがビッグデータを活用した新たな分析サービスをグローバルに展開～ (11/21)
- スマートフォンをクラウド上に仮想化できるサービス「NEC Cloud Smartphone」を販売開始～個人所有端末を用いた安心・安全な業務利用を支援～ (11/7)
- 「ビッグデータ」事業を強化～NEC独自の先進技術を用いた分析クラウドサービス3種を発売～ (11/7)
- NECヨーロッパ社とSITA社が、ヨーロッパにおける出入国管理システムで協業 (11/5)
- 営農支援クラウドサービスを提供開始 (9/25)
- 衝撃の軽さと指先へのリアルな触感を楽しむ世界最軽量7インチタブレット「MEDIAS TAB UL N-08D」を発売 (9/18)
- 「スマートデバイス活用ソリューション」をグローバルに展開～第一弾として、アジアを中心にモバイル営業支援システムなどを発売～ (7/26)
- 世界最軽量Ultrabook (TM) をビジネス向けに発売～薄さ・軽さと高性能スペックを両立しモバイルワークを強力に支援～ (7/23)
- ビッグデータ活用に関するコンサルティングサービス「ビッグデータディスカバリープログラム」を提供～データの活用目的や分析方法を明確化～ (7/17)
- 通信事業者のコアネットワーク向けOpenFlow対応スイッチを開発～高信頼なネットワークのSDN化に向けた実証実験に成功～ (4/10)
- 大規模プラント向け故障予兆監視システムを開発～NECのビッグデータ解析技術を応用～ (4/8)
- 成田国際空港株式会社が実施するノンストップゲート化実証実験に参加 (3/15)
- 世界初、100個以上の大量の商品を正確・瞬時に識別するセンシング技術を開発～流通業での活用により、在庫管理・商品需要予測を高度化～ (12/5)
- 世界初、夜間・悪天候・遠方など見えにくい映像を鮮明化する技術を開発～パブリックセーフティを支える24時間広域監視の実現へ～ (12/5)
- 天候の影響を受けずに、地上のあらゆる場所で生態観測や資源探索を可能にする光解析技術を開発～災害救助、大規模農業、生物多様性へ応用～ (11/9)
- ビッグデータの複雑な処理条件に対応し、高速・高拡張な複合イベント処理を実現する技術を開発～5,000万人の携帯電話ユーザーごとに最適な情報を配信～ (9/19)
- 様々なセンサ機器において高速・安全な通信を実現する暗号技術「TWINE (R)」を開発～ビッグデータの安全な通信に向けて～ (8/21)



「MEDIAS TAB UL N-08D」(左)と
「VersaPro UltraLite タイプVG」



プログラマブルフロー・スイッチ新製品
「UNIVERGE PF5248」「UNIVERGE PF5220」



世界最小・最軽量の
iPASOLINK向け屋外無線装置



垂直統合型製品
「NEC Solution Platforms (TM)」

《参考》主要な広報発表

(発表日)

[受注/納入など]

- 台湾で防災救急情報クラウドシステムを受注～アジアパシフィック地域に防災救急情報クラウドシステムを拡販～ (4/3)
- ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにプライベート型パーク内専用の電子マネーソリューションを提供～スマホでパーク内店舗でのお支払いをカンタン、スピーディーに～ (3/25)
- KDDIから通信設備の最適化と、設計・建設・管理を効率化する運用業務支援システムを受注～ネットクラッカー社の製品を提供～ (3/12)
- 台湾セブンイレブンに店舗システム機器を納入～約5,000店へPOS端末11,000台と発注端末10,000台を提供～ (3/1)
- NTTドコモのLTE-Advanced基地局装置の開発ベンダに選定 (2/27)
- アジア主要都市をつなぐ光海底ケーブル「Asia Submarine-cable Express」の建設を完了 (2/19)
- NECの画像認識技術が博報堂の広告体験プラットフォーム「広告+」に採用～画像認識サービス「GAZIRU」を広告ビジネスに展開～ (2/12)
- 小田急電鉄に新列車無線システムを納入開始 (2/12)
- KDDIのコンタクトセンターシステムを刷新～大規模システムを短期間で構築～ (11/13)
- 三井住友銀行の次期勘定系システムとしてメインフレームACOSシリーズ「i-PX9800/A100」を受注 (10/25)
- ミャンマーの民間放送事業者へ地上デジタルテレビ放送用送信機を納入～同国のICT近代化に貢献～ (10/3)
- 新東名高速道路向け交通管制システムを納入～従来比5倍となるビッグデータ処理でリアルタイムな交通情報提供を実現～ (9/20)
- アサヒグループホールディングスの共通IT基盤を構築～事業環境の変化に迅速に対応可能なITシステムを実現～ (7/2)
- ロシア最大の携帯電話事業者「MTS」にフェムトセルシステムを納入～シベリア地域におけるフェムトセルサービスの立ち上げに貢献～ (6/25)
- NECの子会社ネットクラッカー社が、米国の通信事業者スプリント社に通信運用システムを提供 (6/14)
- 金沢大学附属病院が新ネットワークに「プログラマブルフロー」を導入～「OpenFlow/SDN」技術を採用、柔軟性とセキュリティを両立するネットワーク基盤を構築～ (6/11)
- 東京スカイツリー (R) 向け地上デジタルテレビ放送用送信機を納入～消費電力を40%以上削減した高効率な電力増幅器を実現～ (5/21)
- JAXAの第一期水循環変動観測衛星「しずく」の打上げについて～NECが主契約者としてシステム取りまとめ・製造・試験等を担当～ (5/18)



新東名高速道路
道路管制センターの大型表示装置

[新事業など]

- ブラジル サルバドル市のスタジアムICTシステムを構築～スマートシティソリューションを新興国等で展開～ (4/12)
- 中国重慶市とスマートシティ・クラウド分野において戦略的パートナーシップを締結 (4/10)
- 家庭用蓄電システムを甲府で量産開始 (2/14)
- スイスのGutermann社とスマートウォーターマネジメント分野で協業 (10/23)
- 英国インペリアル大学とスマートシティ分野で共同研究を開始～水資源の有効活用を目指すスマートウォーターマネジメントで協力～ (10/23)
- イタリア大手電力会社から欧州最大クラスの大容量リチウムイオン蓄電システムを受注 (10/18)
- GSユアサとリチウムイオン電池の主要部品の供給に基本合意 (6/6)



「イオンレイクタウンmori」
(EV/PHEV充電クラウドサービス関連)

[経営・提携・新会社設立・事業再編など]

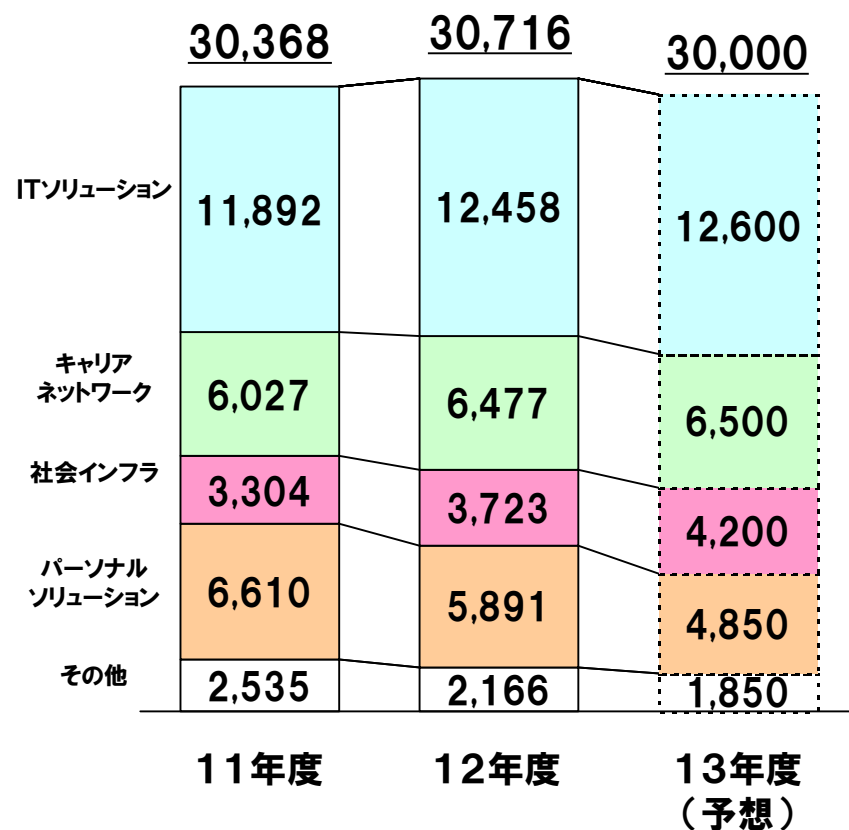
- グローバル事業拡大に向け、APACに「Regional Retail Business Support Center」を設置～多店舗展開型小売業向けソリューションを現地主導で展開～ (3/4)
- ミャンマーにランチオフィス (支店) を開設 (12/25)
- NECグループ全社11万人にグローバル情報共有基盤「コミュニケーション・コラボレーションソリューション」を導入～実績・ノウハウを日本マイクロソフトと共同で拡販～ (12/4)
- 官公庁や企業のサイバー攻撃対策向け支援体制を強化～国内セキュリティ会社と連携した専門組織を設置～ (11/27)
- オーストラリアCSG社のITサービス事業を買収 (5/30)
- 米国Convergys社の事業支援システム事業の買収完了 (5/17)



2013年度 業績予想（補足）

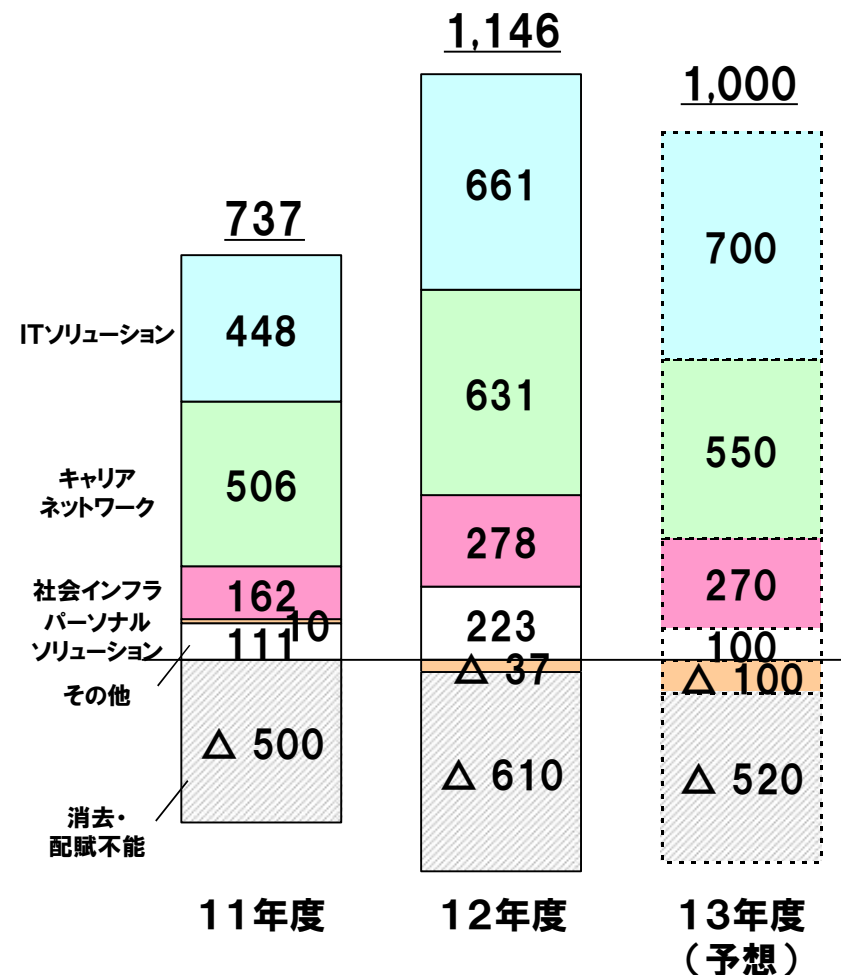
セグメント別 業績予想

売上高



営業損益

(億円)



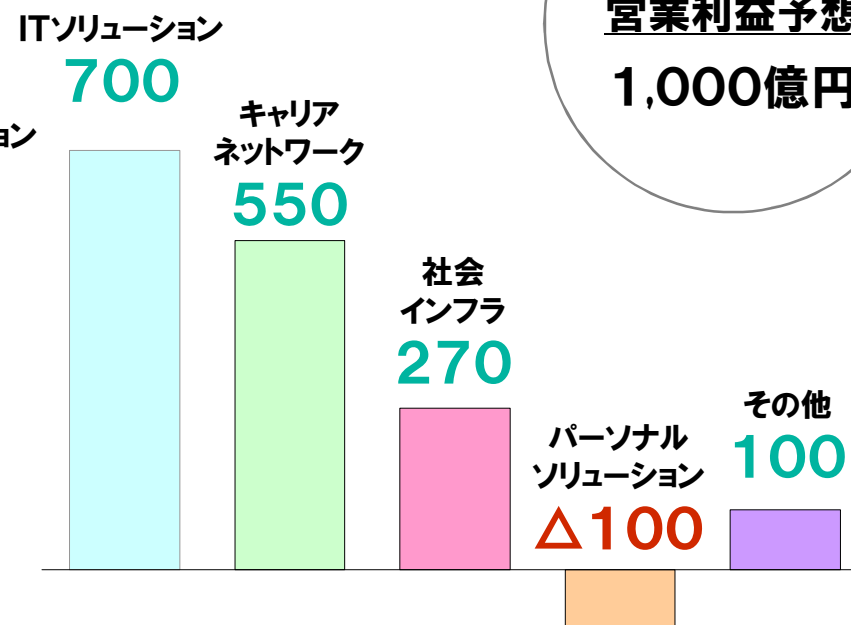
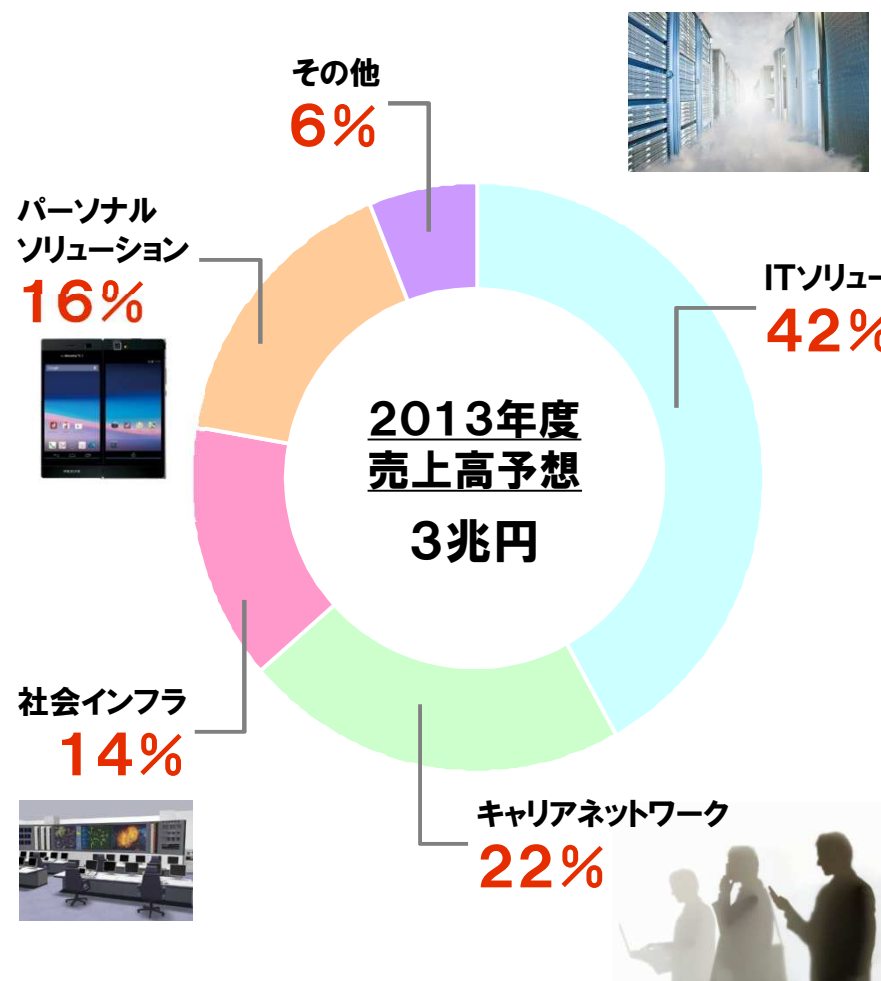
※ 予想値は、2013年4月26日現在

セグメント別 業績予想サマリー

(億円)

売上高

営業損益

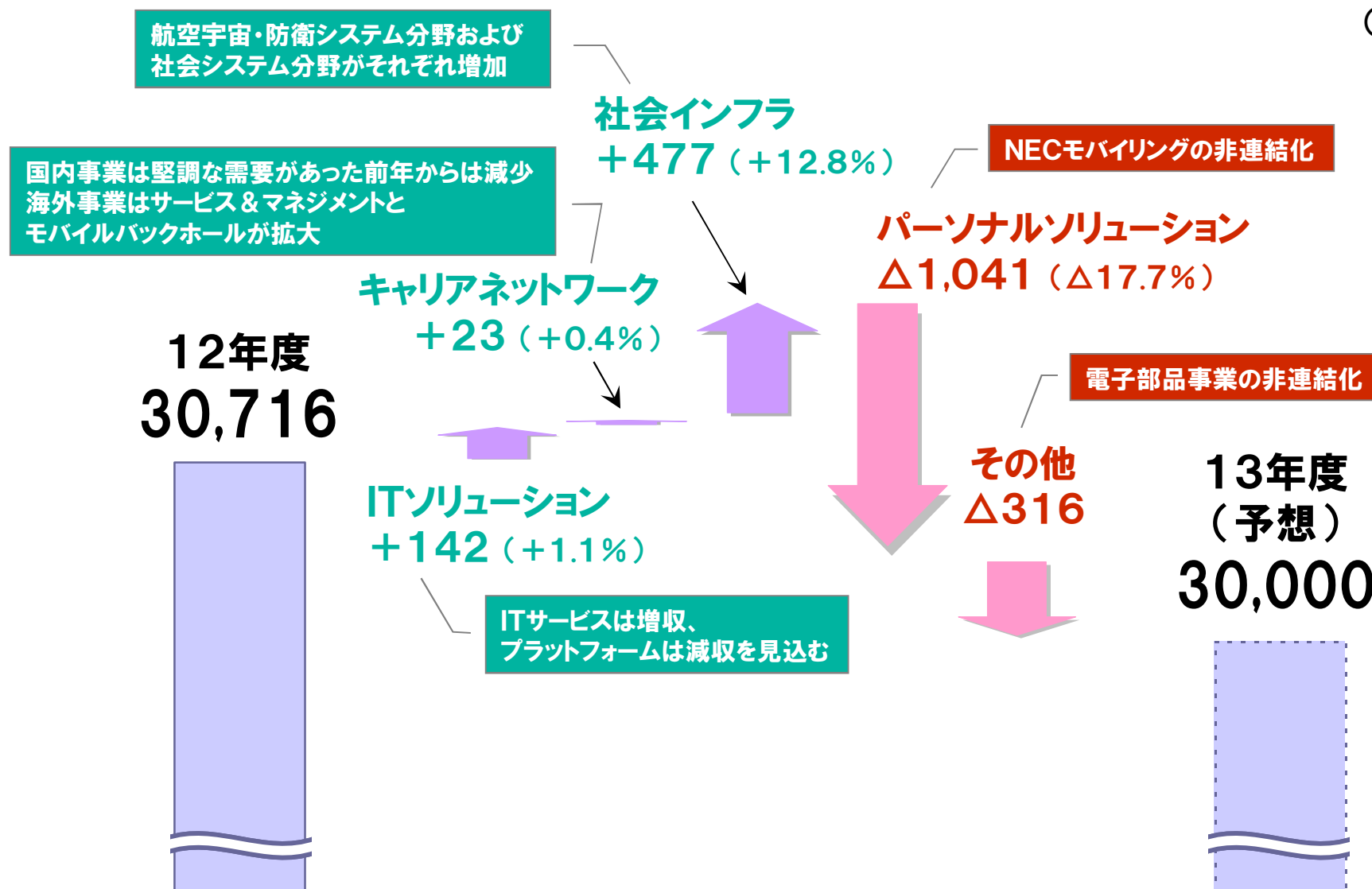


※ 予想値は、2013年4月26日現在

売上高増減（前年度比）

13予想

（億円）

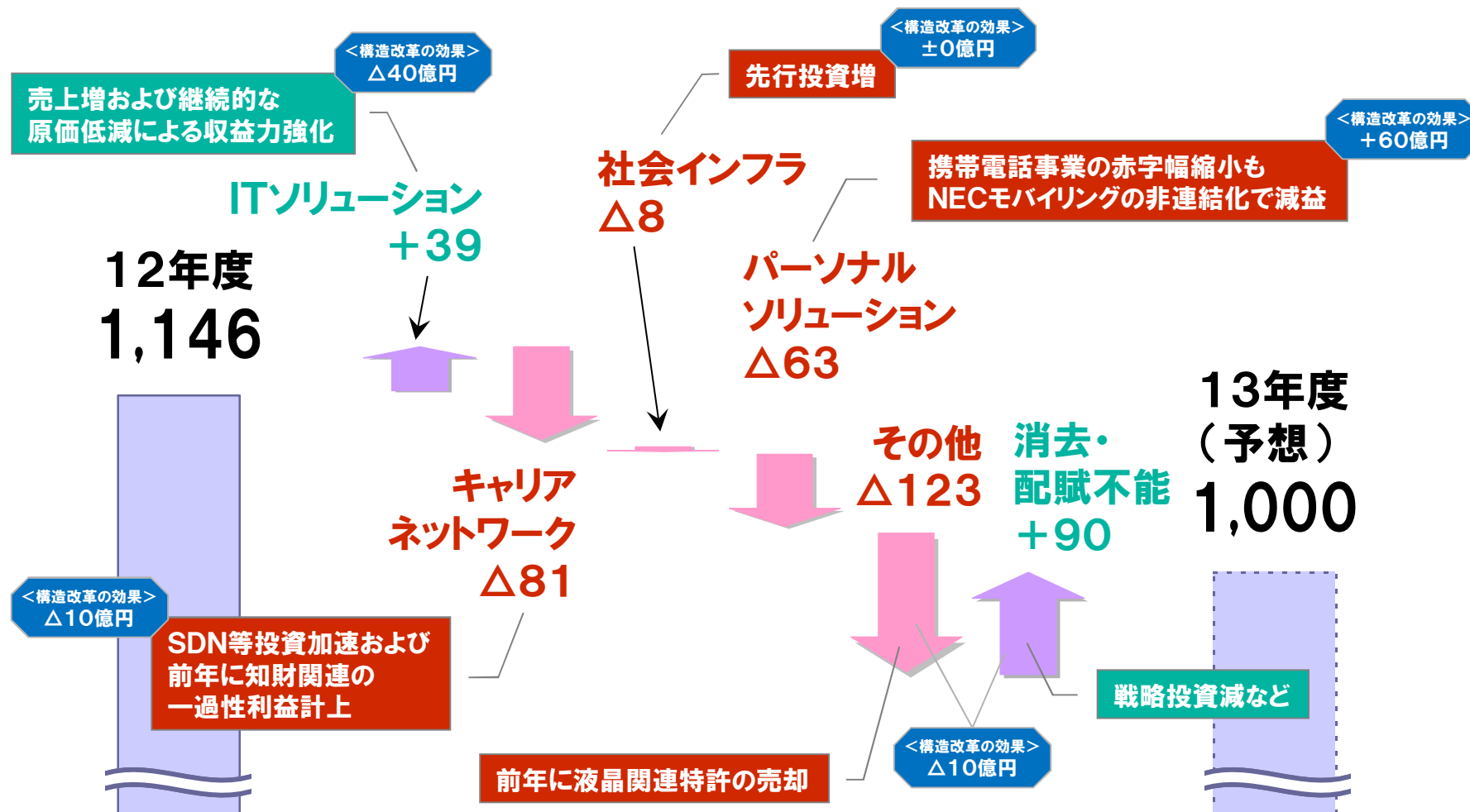


※ 予想値は、2013年4月26日現在

営業損益増減（前年度比）

13予想

（億円）



※ 予想値は、2013年4月26日現在、構造改革効果は12年度比

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

	11年度 実績	12年度 実績	前年度比	1/31 予想比
設備投資額	420	456	8.7%	△ 44
減価償却費	533	512	△ 4.0%	△ 38
研究開発費	1,620	1,517	△ 6.4%	△ 183
連結売上高比率	5.3%	4.9%		

13年度 予想	前年度比
500	9.6%
500	△ 2.3%
1,600	5.5%
5.3%	

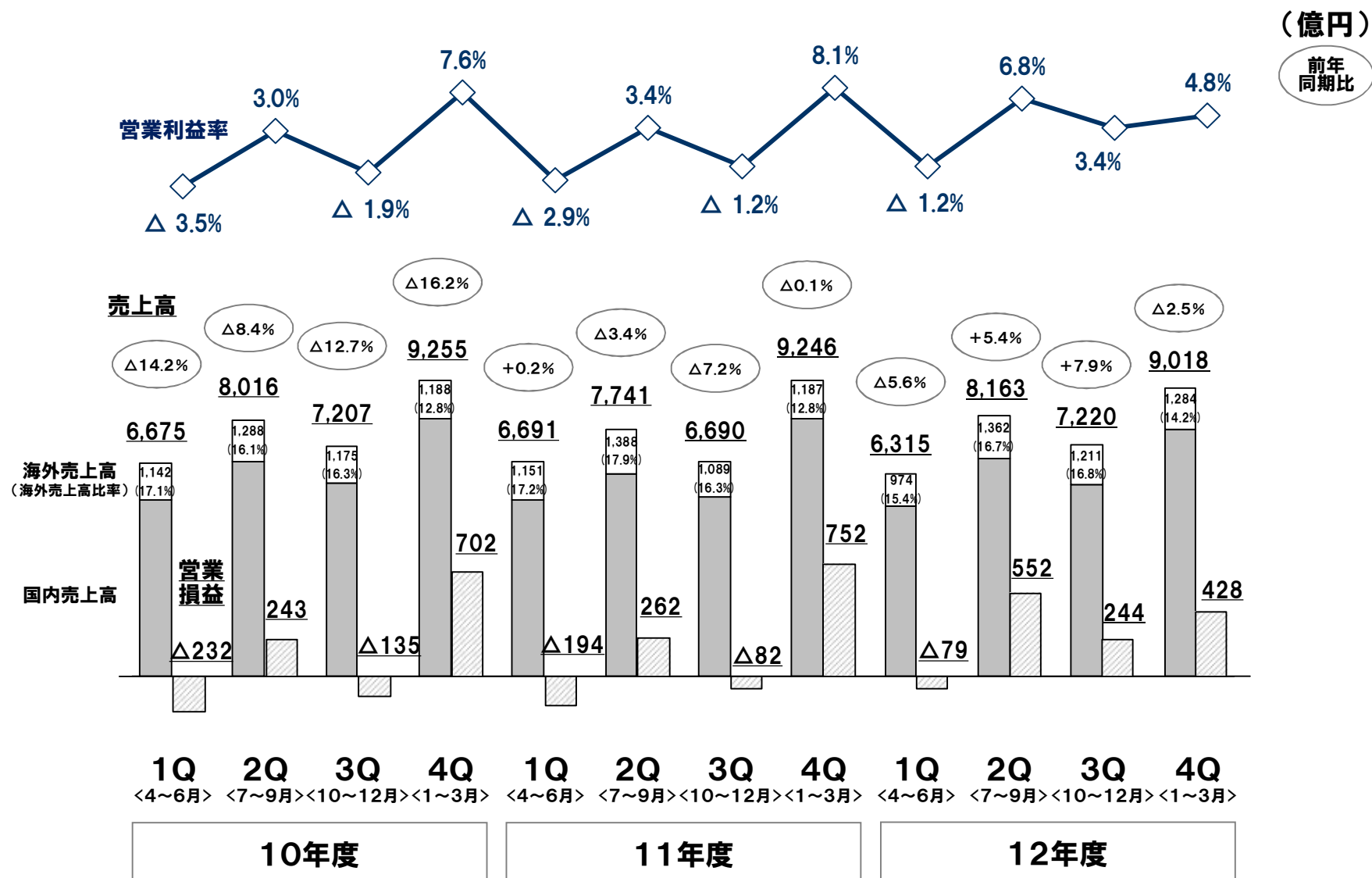


※ 予想値は、2013年4月26日現在



参考資料（業績データ）

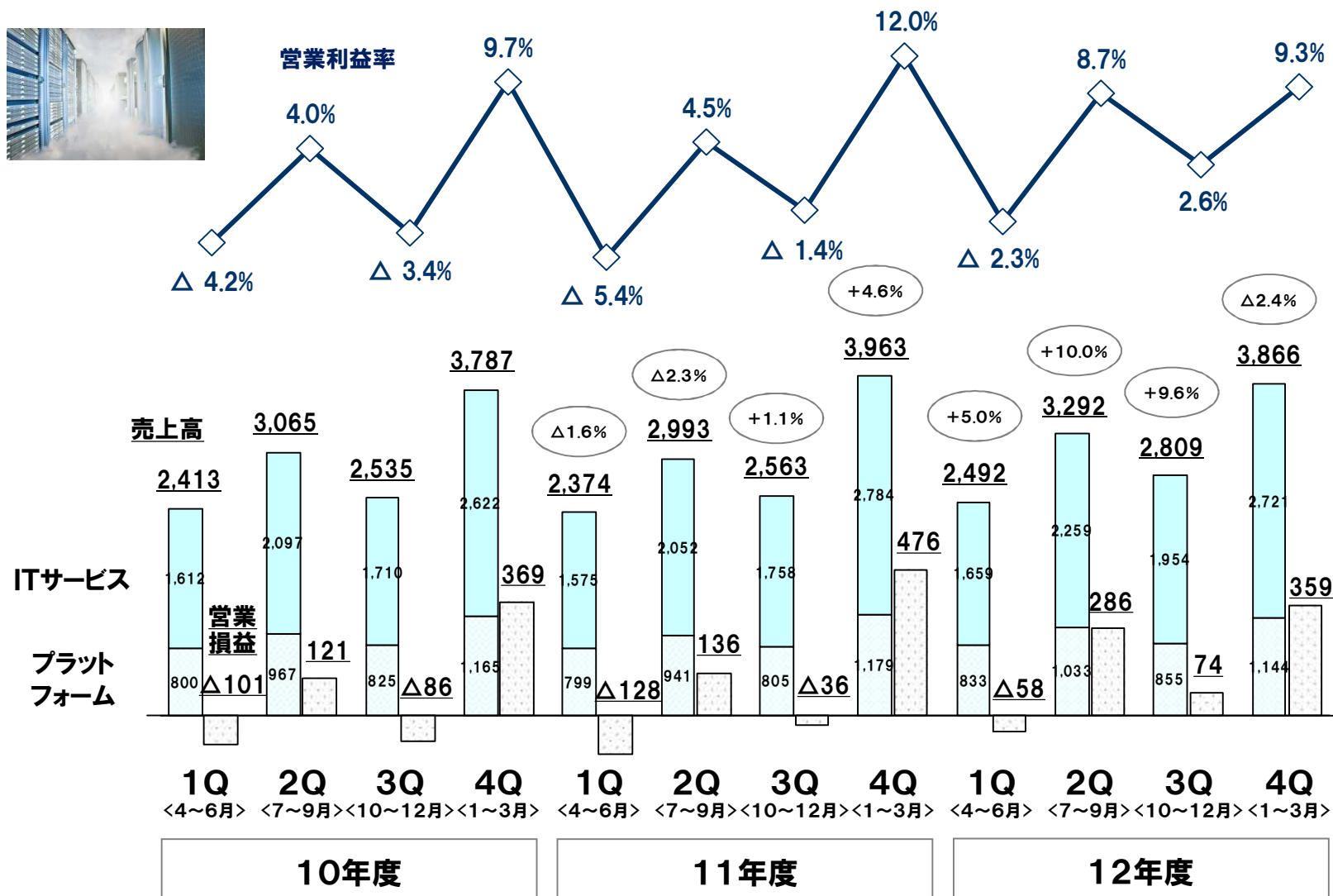
全社売上高・営業損益推移



ITソリューション事業 売上高・営業損益推移

(億円)

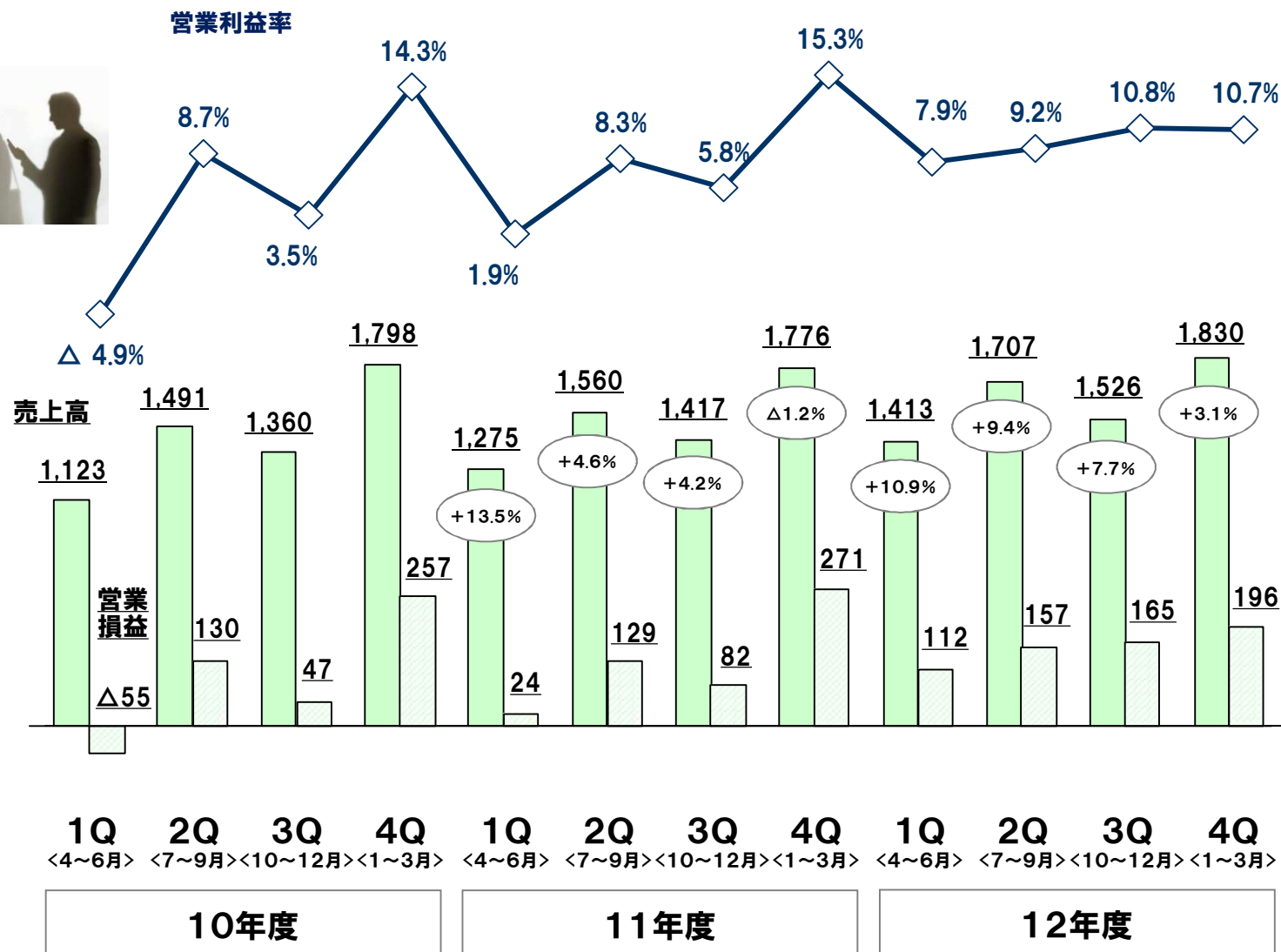
前年
同期比



キャリアネットワーク事業 売上高・営業損益推移

(億円)

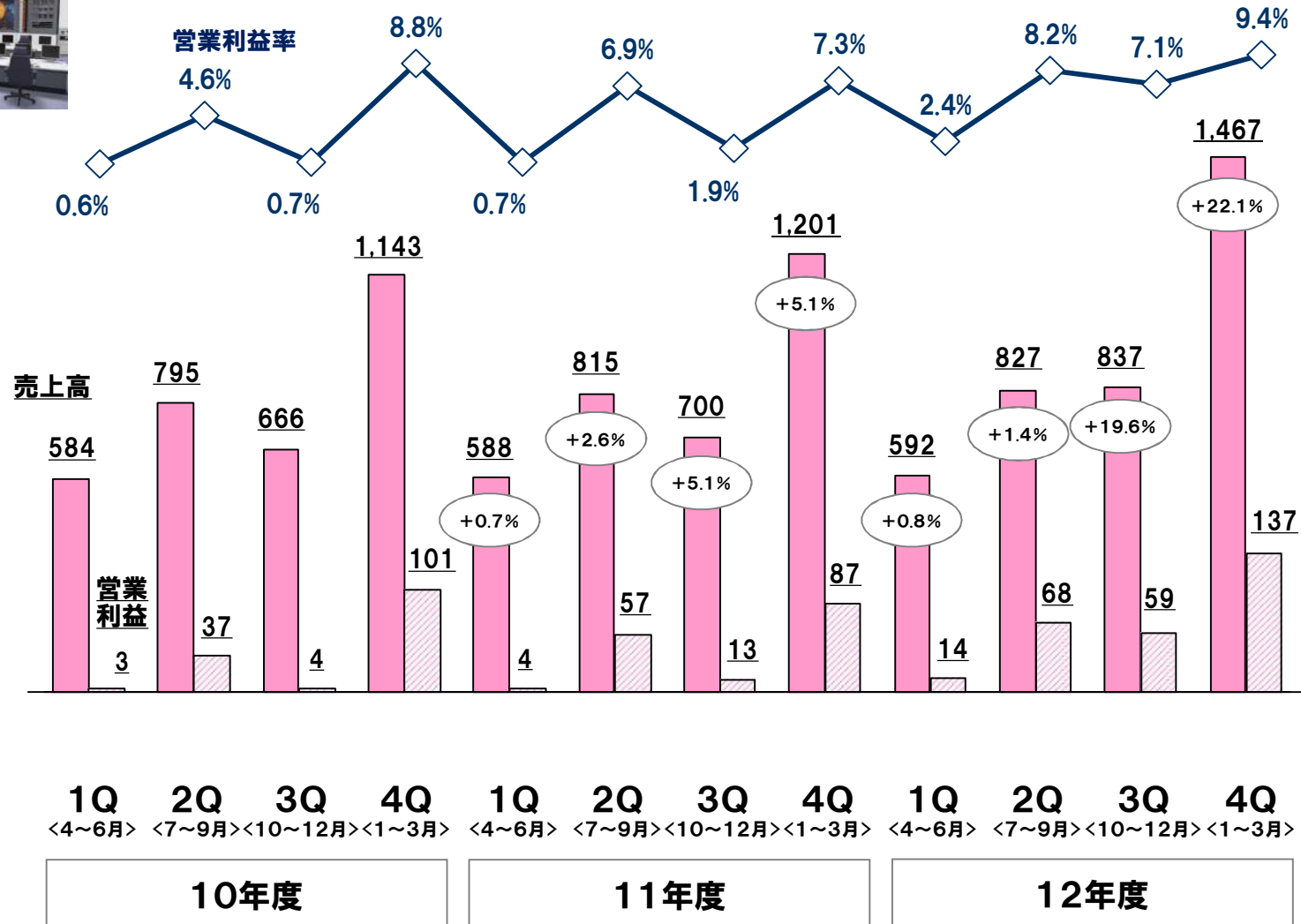
前年
同期比



社会インフラ事業 売上高・営業損益推移

(億円)

前年
同期比



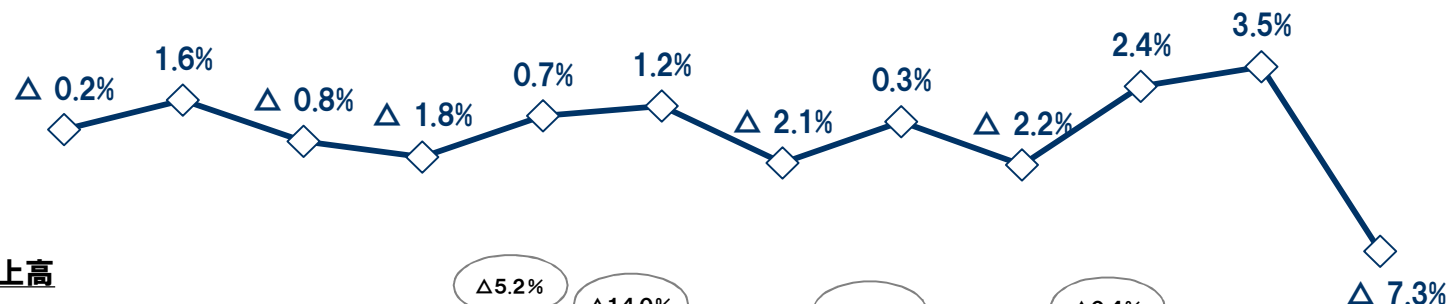
パーソナルソリューション事業 売上高・営業損益推移

(億円)

前年
同期比



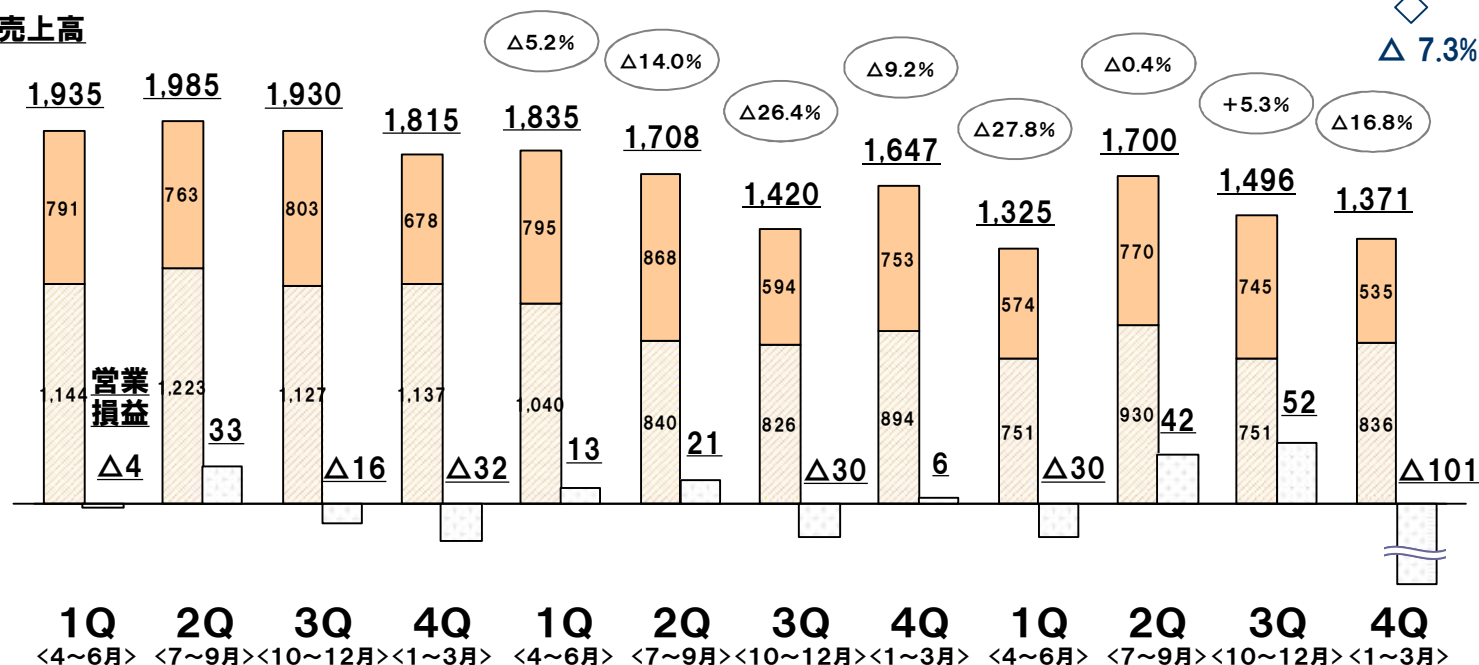
営業利益率



売上高

モバイル
ターミナル

PC
その他

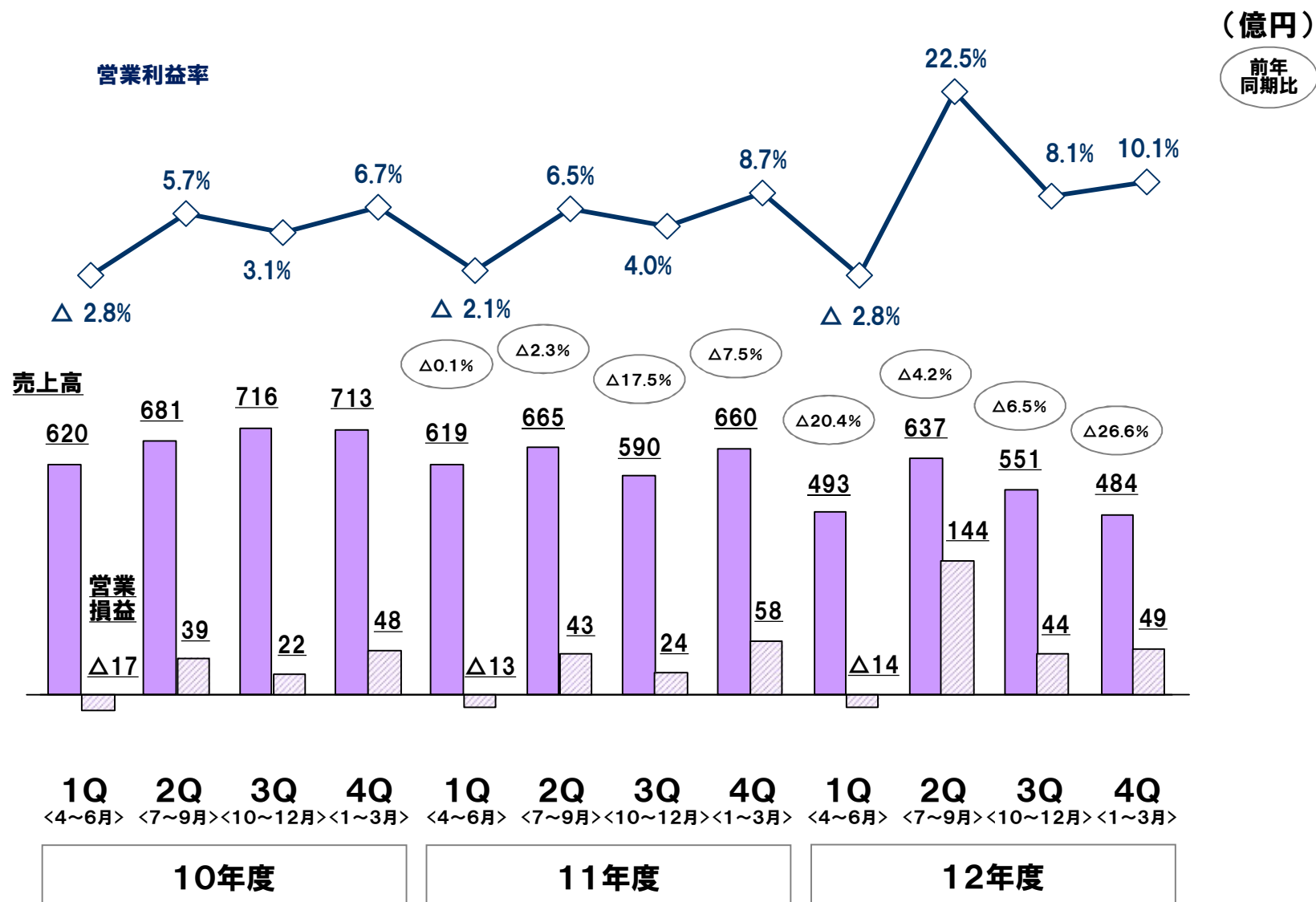


10年度

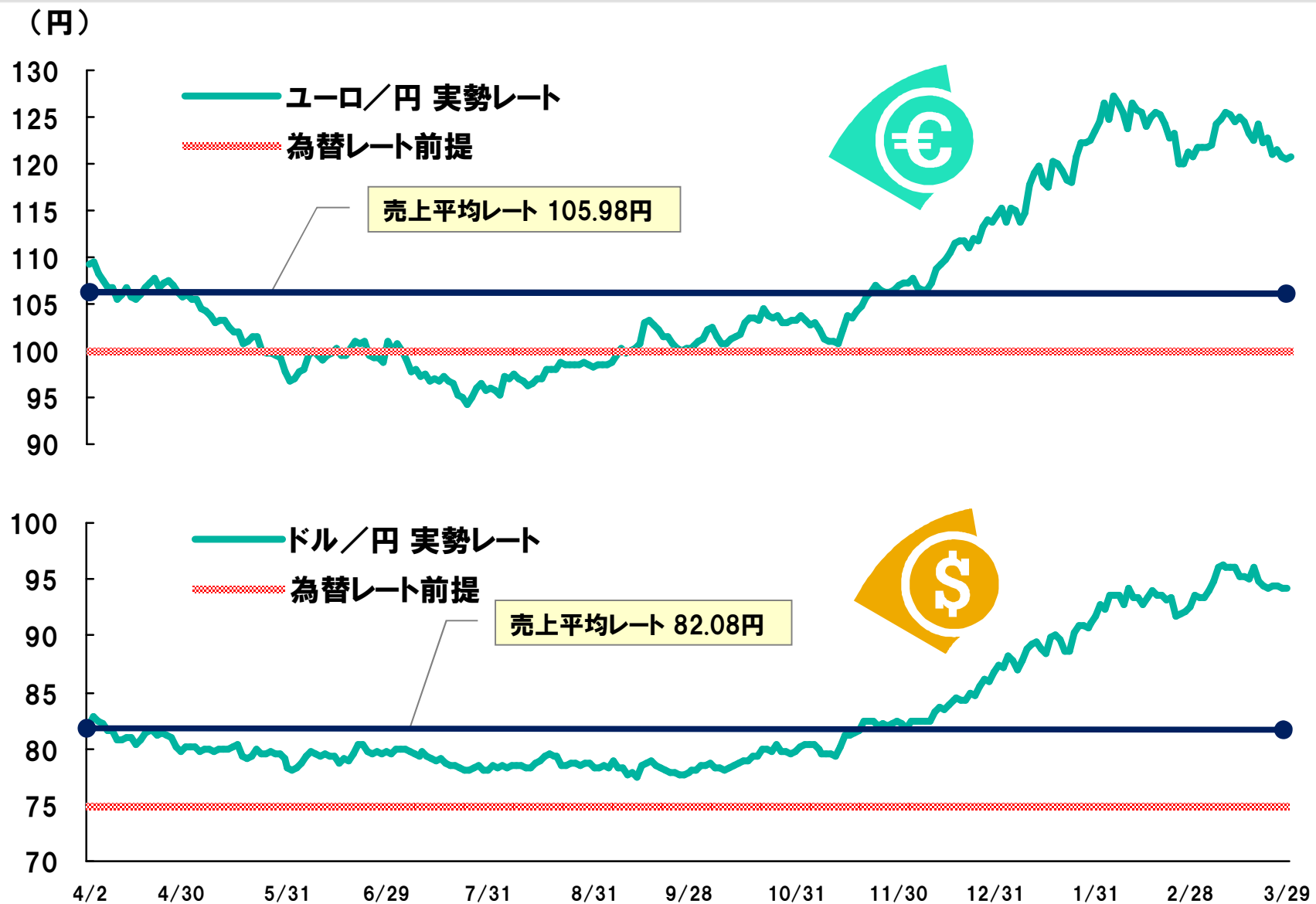
11年度

12年度

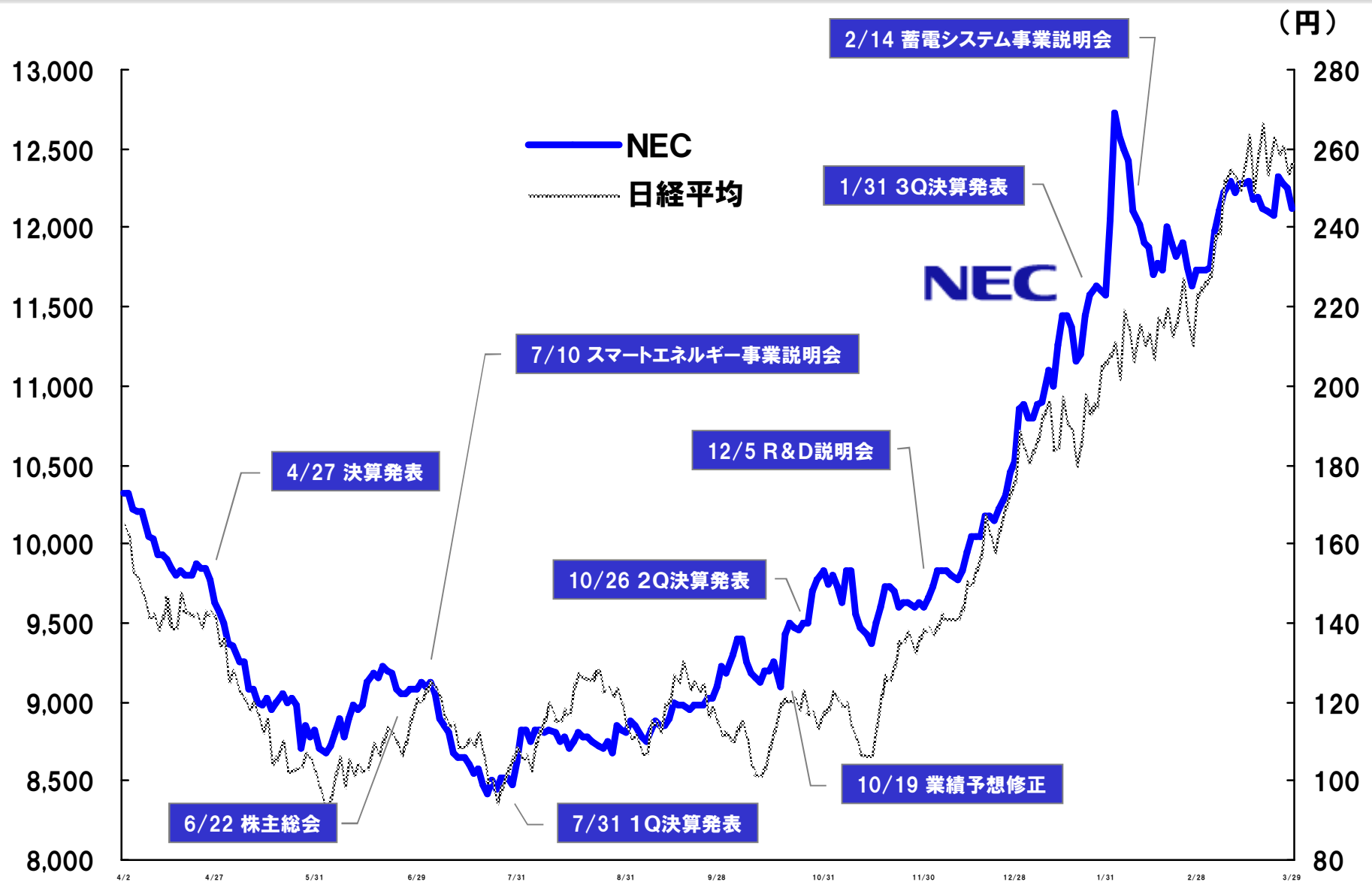
その他 売上高・営業損益推移



為替レートの推移



株価の推移



＜将来予想に関する注意＞

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承ください。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8) NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9) NECに対する規制当局による措置や法的手続による影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

（注）

当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。

年度表記について、2010年度は2011年3月期、2011年度は2012年3月期（以下同様）を表しています。